

第6次熊野町総合計画等に関する 住民意識調査報告書

【集計結果】

令和5年11月
熊野町

《目 次》

第1章 調査方法.....	2
第2章 結果の概要.....	3
第3章 調査結果.....	4
1. あなた自身のことや住まいについて.....	4
2. 熊野町の現在のまちづくりについて.....	11
3. まちの住みやすさについて.....	46
4. 今後のまちづくりについて.....	54

第1章 調査方法

1. 調査の目的

本調査は、「第6次熊野町総合計画（前期）」及び「第2期熊野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗状況を検証するとともに、広く住民の意見を把握し、今後の施策展開に活用することを目的として実施した。

2. 調査の方法

（1）調査対象者

調査対象者は、無作為に抽出した18歳以上の熊野町住民2,500人である。

（2）調査方法

配布・回収ともに郵送法で行った。

（3）調査期間

令和5年8月7日～8月23日。

3. 回収結果

有効回収数は975件、有効回収率は39.0%となっている。

4. 集計・分析方法

（1）集計方法

本報告書で使用する百分率は、小数点第二位を四捨五入した値で表示した。このため、比率の合計が100%にならないことがある。

複数回答項目については、回答すべき人を分母として百分率を算出した。

本報告書においてクロス集計は、グラフ表示が煩雑になるため、比率の極めて低いもの（4.0%未満）は数値の表示を省略している。

＜性別＞や＜年齢＞などで「無回答」だったものは、クロス集計におけるサンプル数から除外しているため、単純集計の値とクロス集計にある“全体”の値が一致しないことがある。

（2）分析方法

単純集計のほかに、年代や地域ごとのクロス集計を行っている。

地域ごとの集計は中央部南西地域（呉地・出来庭・中溝）、中央部北東地域（萩原・城之堀）、東部地域（初神・新宮）、西部地域（川角・平谷・貴船・石神・神田・柿迫・東山）の4つに区切り集計している。

第2章 結果の概要

●デジタル化の取組について

2021年に発表されたデジタル田園都市国家構想では、デジタル技術を活用して地方の課題を解決し、誰もがデジタル化のメリットを享受できる豊かな暮らしを実現することを目的としています。これを踏まえ、今回の調査では「デジタル化の取組」についても設問に追加しました。「いつでもどこでも届出や申請ができる」ことや、「窓口での手続き時に申請書などを書かなくて良い」ことなど、役所手続きのデジタル化の関心が高い状況が明らかになりました。

●関心が高い分野

前回調査（令和元年度）に引き続き、安心・安全な暮らしに対する関心が高くなっています。そんな中、防災対策に関する「地震・風水害などの防災・減災対策」と「避難喚起・避難所誘導体制」については前回調査結果に比べ、満足度が向上しています。

今後も安心・安全な暮らしを維持するために満足度に関係なく充実していくことが必要です。

●充実を望まれている分野

「道路の整備」と「路線バスの利便性」は前回調査（令和元年度）から引き続き満足度が低く、重要度が高い結果となりました。熊野町に住みたくない理由では、「道路、交通の便が悪いから」が最も多くなっています。

住民が熊野町で快適な日常生活を過ごすことができるように、地域交通の充実が望まれます。

●関心の低い分野

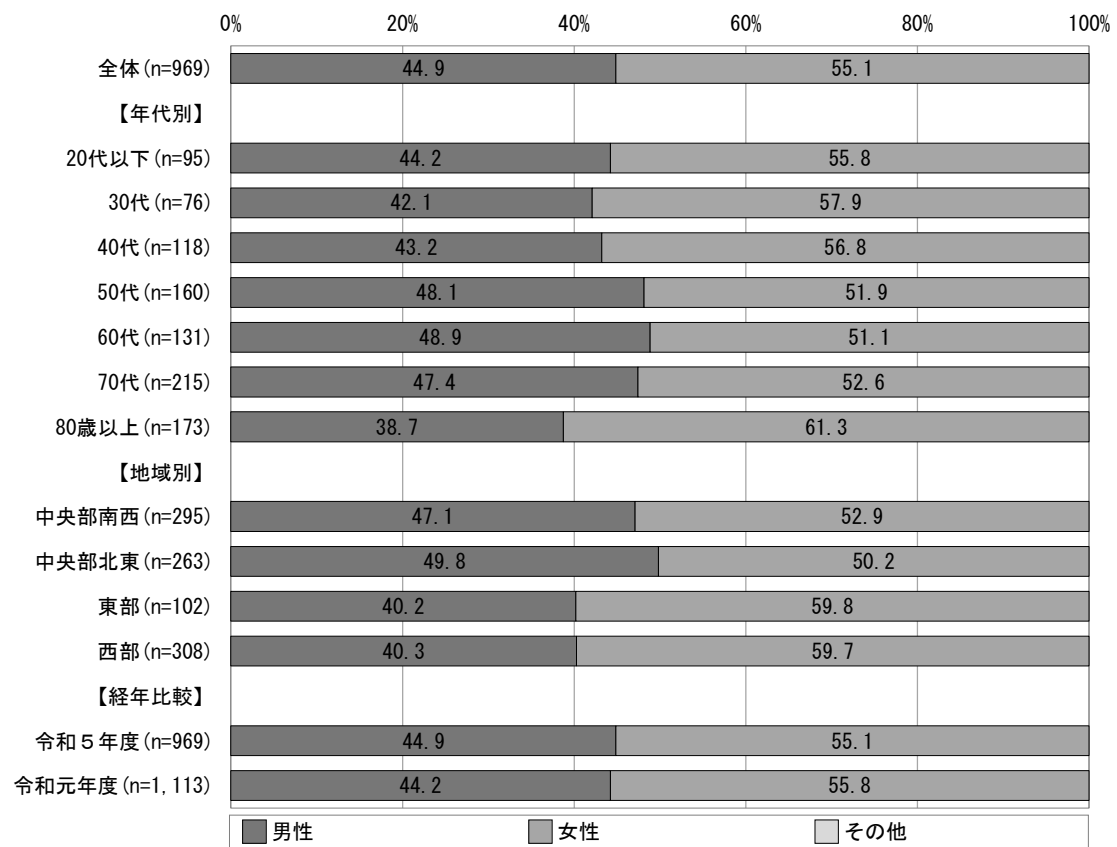
前回調査（令和元年度）に引き続き、地域活動が関心の低い項目となっています。産業活動分野についても前回調査（令和元年度）に引き続き、満足度が低く重要度が低い項目となっています。

第3章 調査結果

1. あなた自身のことや住まいについて

問1 あなたの性別はどちらですか。(単数回答)

性別について、「女性」が55.1%、「男性」が44.9%となっています。

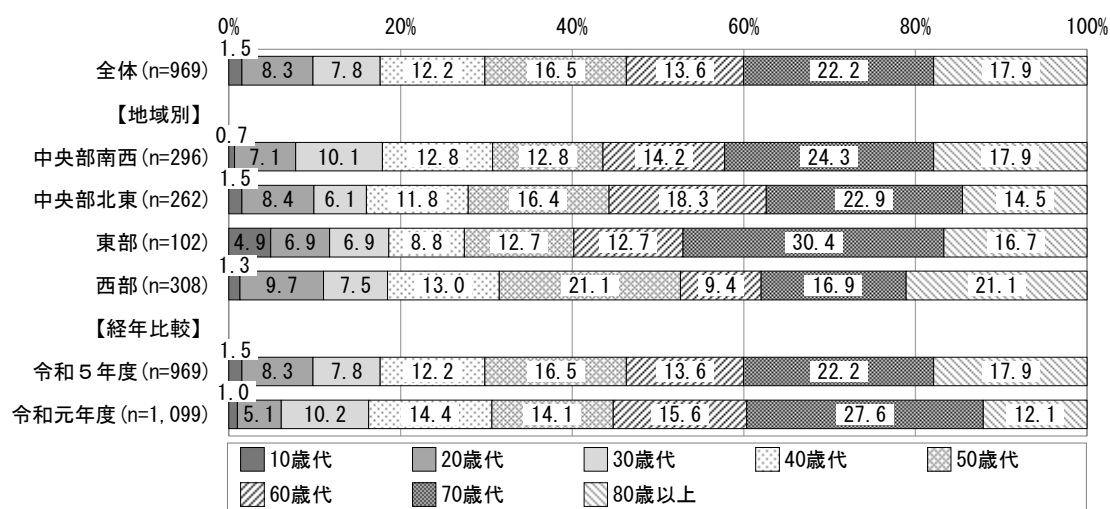


問2 あなたの満年齢をお答えください。(単数回答)

満年齢について、「70歳代」が22.2%で最も高くなっています。次いで「80歳以上」が17.9%、「50歳代」が16.5%が続いています。

地域別では、3地域で「70歳代」の占める割合が最も高く、「西部」では、「80歳以上」と「50歳代」の占める割合が高くなっています。

前回調査結果と比べ「80歳以上」などが増加しました。

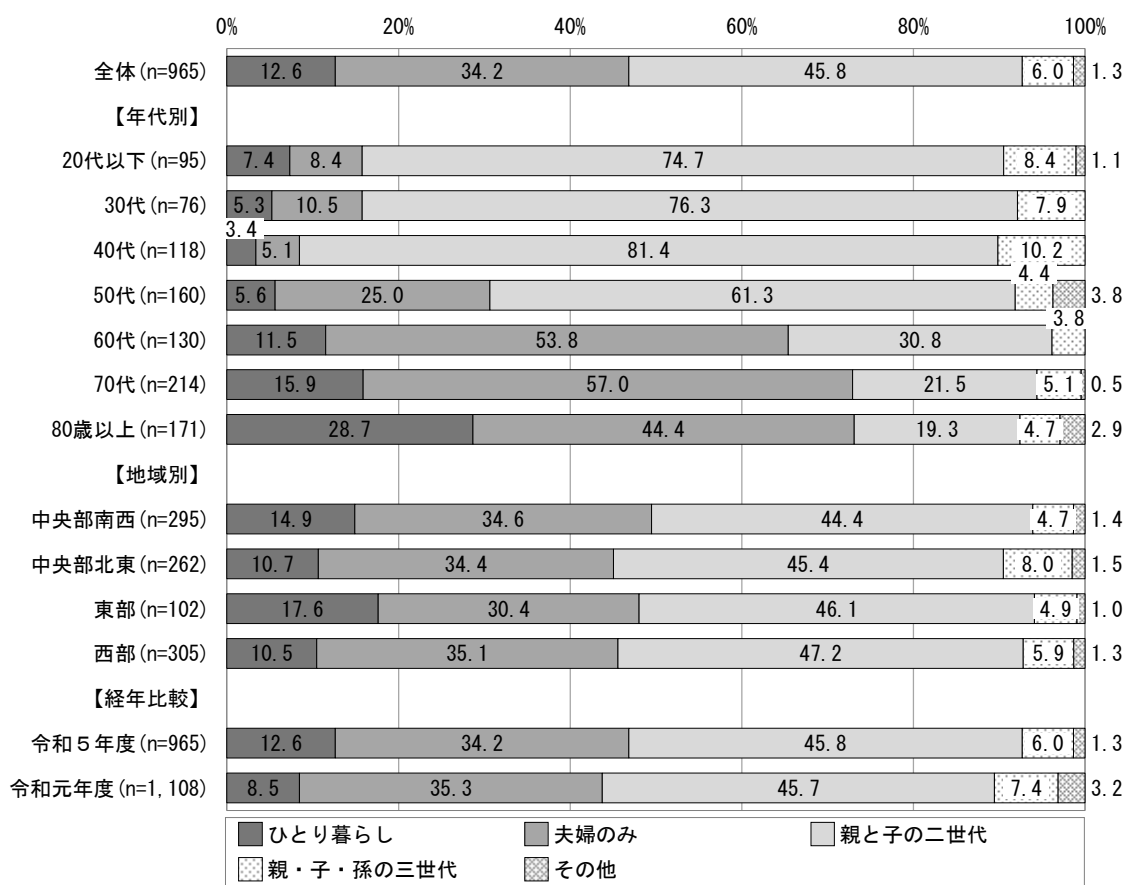


問3 あなたの世帯構成をお答えください。(単数回答)

世帯構成について、「親と子の二世帯」が最も多く45.8%、次いで「夫婦のみ」が34.2%、「ひとり暮らし」が12.6%と続いています。

地域別では、『東部』で「ひとり暮らし」が17.6%と最も多くなっています。

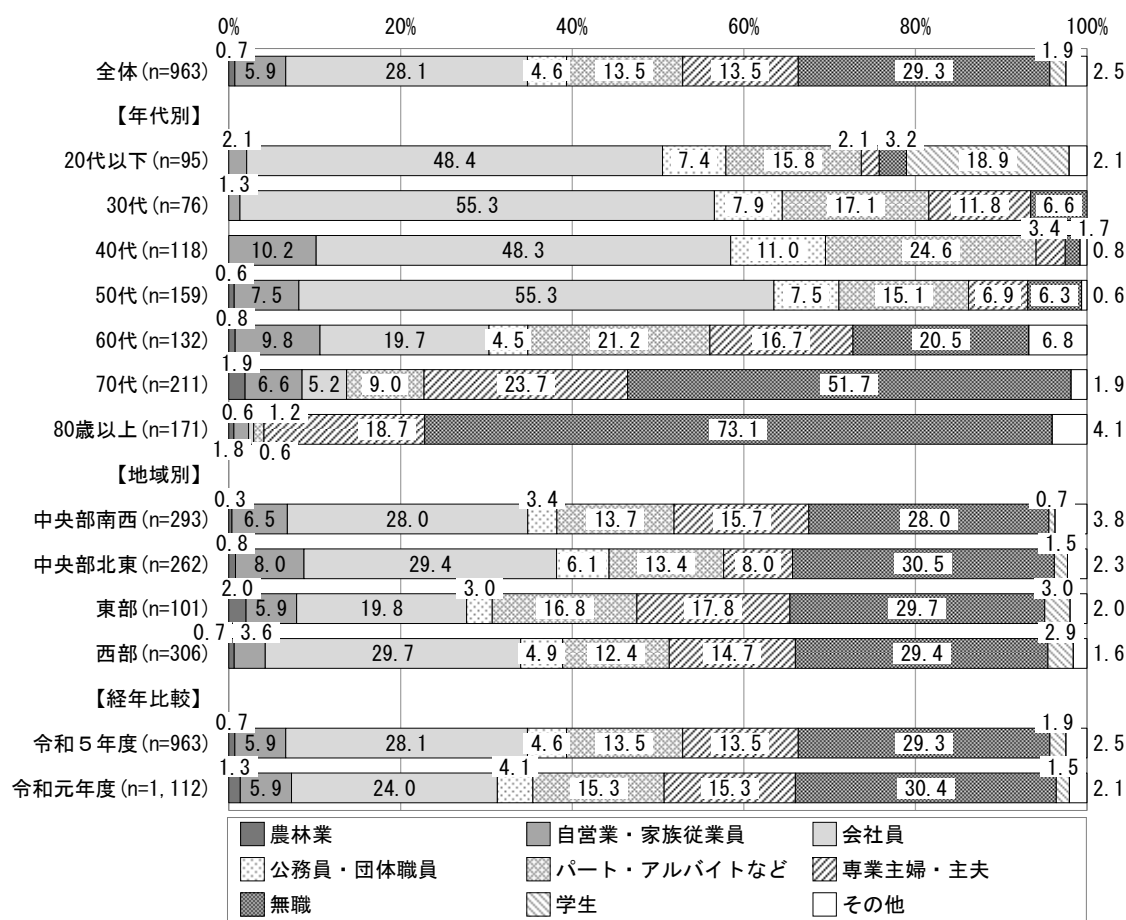
前回調査結果と比べ「ひとり暮らし」などが増加しました。



問4 あなたの職業は、次のうちどれに該当しますか。(単数回答)

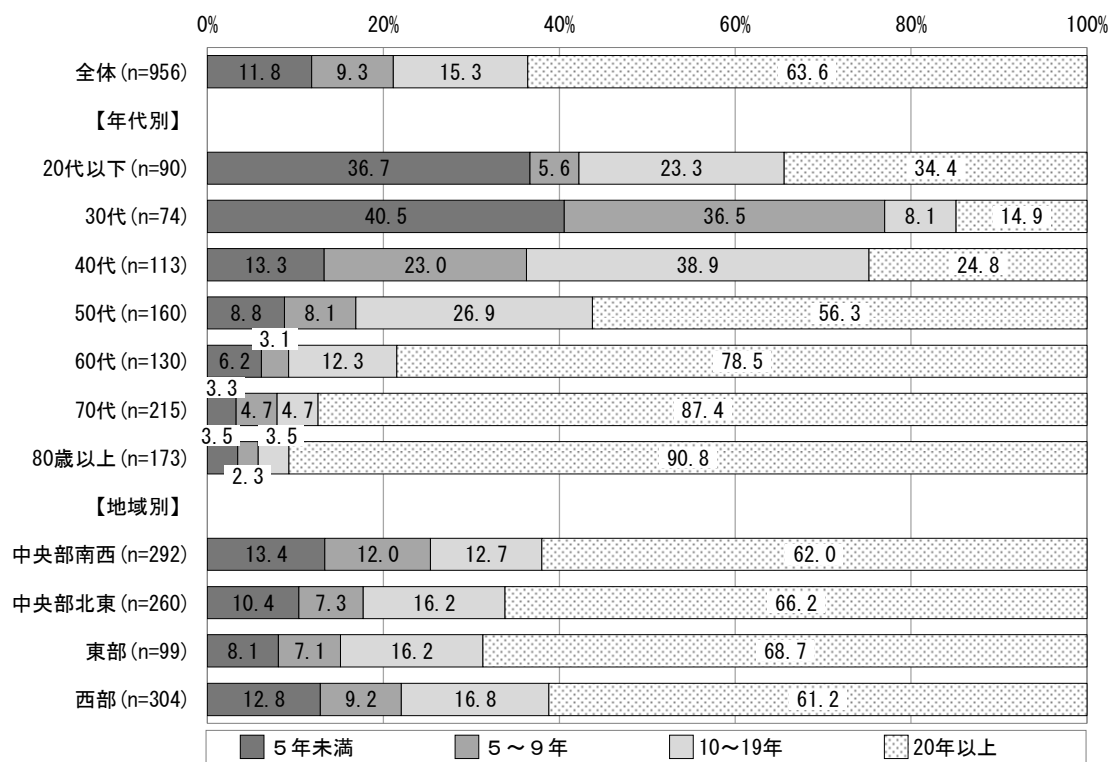
職業について、「無職」が最も多く29.3%、次いで「会社員」が28.1%、「パート・アルバイトなど」と「専業主婦・主夫」がそれぞれ13.5%と続いています。

前回調査結果と比べ「自営業・家族従業員」などが増加しました。



問5 今の場所にどのくらいお住まいですか。(単数回答)

住んでいる期間について、「20年以上」が最も多く63.6%、次いで「10～19年」が15.3%、「5年未満」が11.8%と続いています。



問6 あなたの住まいが属する地区（大字）はどこですか。（単数回答）

住まいが属する地区（大字）について、「萩原」が最も多く14.9%、次いで「川角」が12.7%、「城之堀」が12.3%と続いています。

前回調査結果と比べ「柿迫」が増加しました。

	中央部南西 30.6%			中央部 北東 27.2%		東部 10.5%		西部 31.8%						
(%)	呉地	出来庭	中溝	萩原	城之堀	初神	新宮	川角	平谷	貴船	石神	神田	柿迫	東山
全体 (n=969)	12.1	11.5	7.0	14.9	12.3	3.9	6.6	12.7	4.5	2.6	2.6	1.8	3.4	4.2
【年代別】														
20代以下 (n=95)	10.5	8.4	5.3	17.9	9.5	5.3	7.4	16.8	4.2	2.1	0.0	2.1	3.2	7.4
30代 (n=76)	18.4	10.5	10.5	14.5	6.6	5.3	3.9	10.5	3.9	2.6	3.9	1.3	2.6	5.3
40代 (n=118)	11.0	16.9	4.2	11.9	14.4	2.5	5.1	17.8	5.1	0.0	0.8	1.7	3.4	5.1
50代 (n=159)	8.8	11.3	3.8	15.1	11.9	1.9	6.3	22.0	3.1	4.4	2.5	1.3	3.1	4.4
60代 (n=132)	12.9	11.4	7.6	18.9	17.4	6.1	3.8	10.6	3.8	1.5	0.8	1.5	0.8	3.0
70代 (n=215)	12.6	10.2	10.7	16.3	11.6	5.6	8.8	8.4	4.7	3.3	2.3	1.4	2.3	1.9
80歳以上 (n=173)	12.7	11.6	6.4	10.4	11.6	1.7	8.1	6.4	6.4	2.9	6.4	2.9	7.5	5.2
【経年比較】														
令和5年度 (n=969)	12.1	11.5	7.0	14.9	12.3	3.9	6.6	12.7	4.5	2.6	2.6	1.8	3.4	4.2
令和元年度 (n=1,112)	12.2	11.3	6.7	15.6	11.9	3.6	7.3	12.5	4.0	3.5	3.1	1.9	2.2	4.0

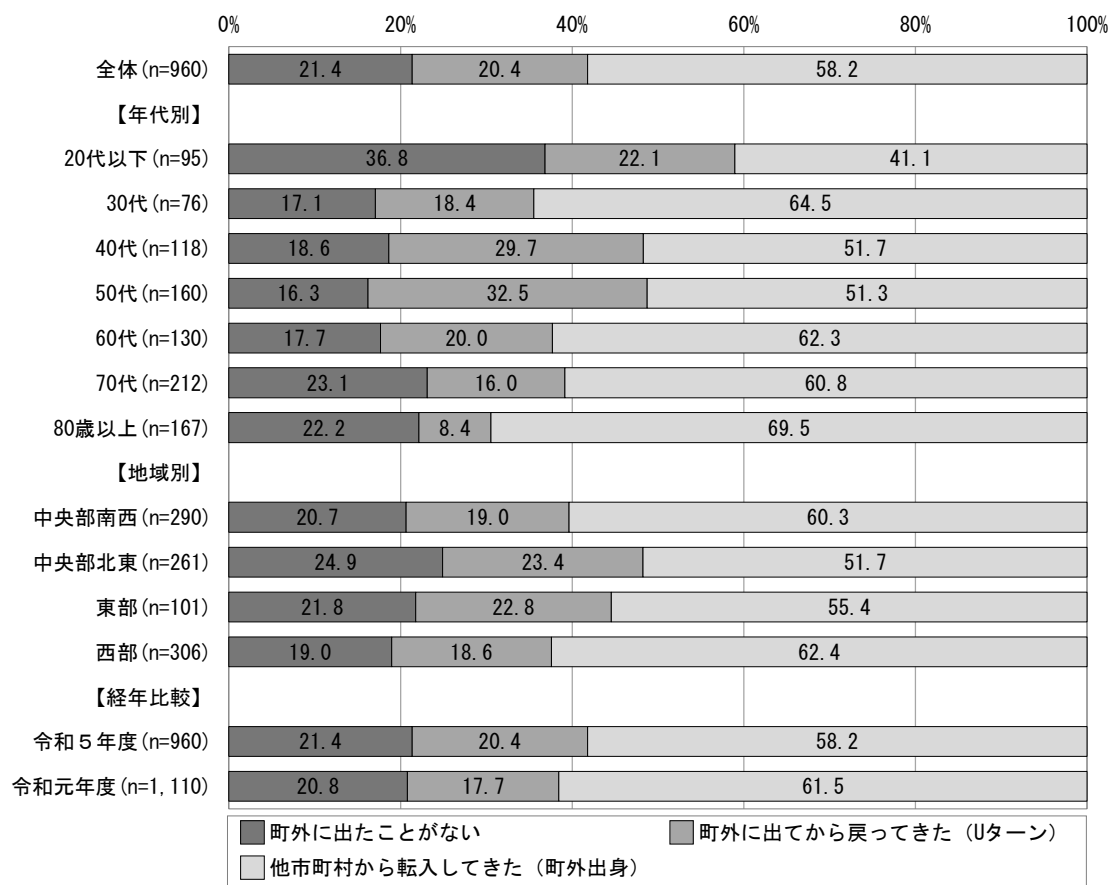
問7 熊野町への転入・転出についてお聞きします。(単数回答)

熊野町への転入・転出について、「他市町村から転入してきた（町外出身）」が最も多く58.2%、次いで「町外に出たことがない」が21.4%、「町外に出たから戻ってきた（Uターン）」が20.4%、がと続いています。

年代別では、『20代以下』で「町外に出たことがない」が36.8%と最も多くなっています。

地域別では、『中央部北東』で「町外に出たことがない」が24.9%と最も多くなっています。

前回調査結果と比べ「町外に出たから戻ってきた（Uターン）」などが増加しました。



2. 熊野町の現在のまちづくりについて

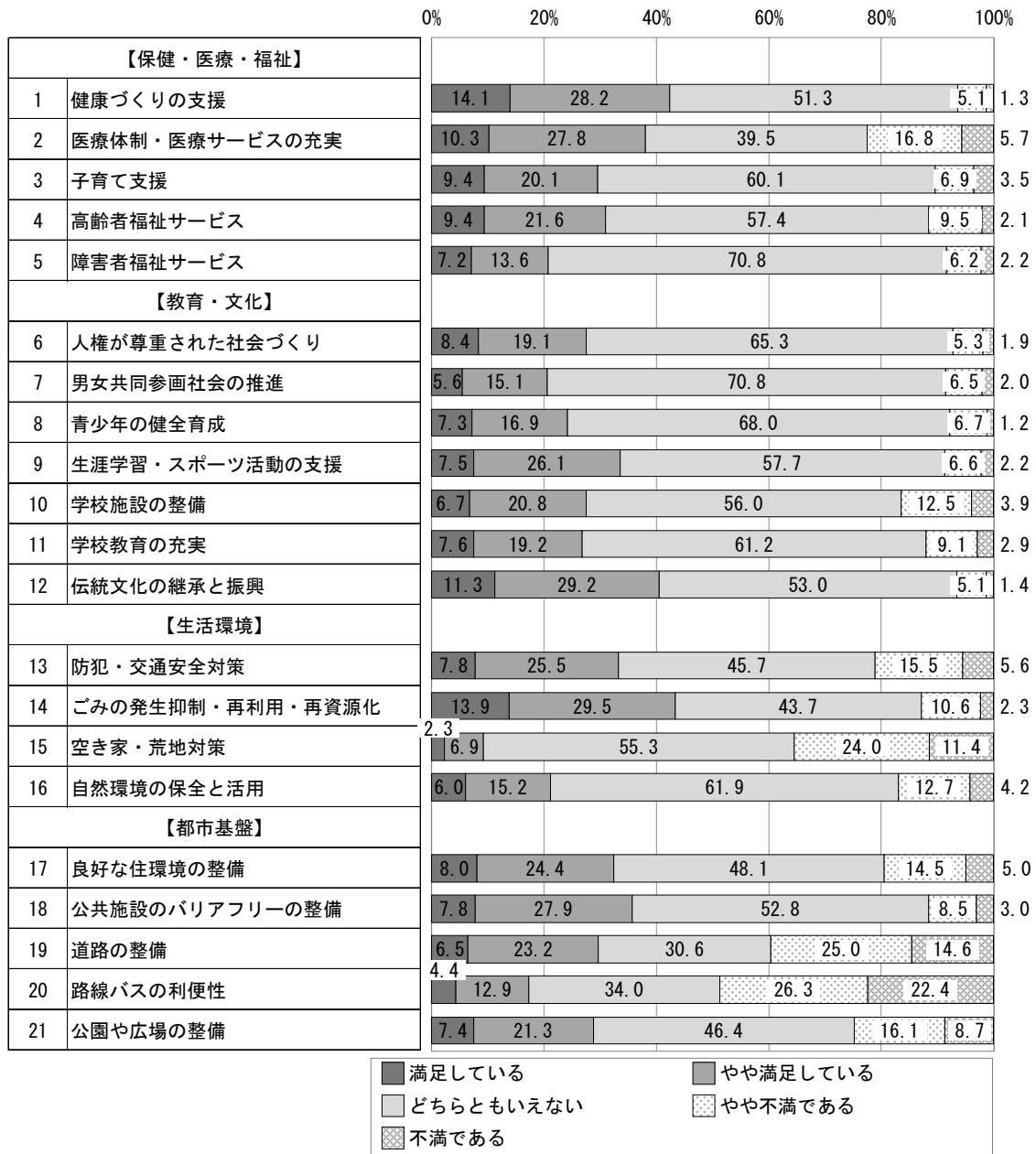
問8 次にあげる町の基本施策について、現在、どの程度満足していますか。また、あなたの「今」、あるいは「これから」の生活にとって、どのくらい重要ですか。以下に示す項目について、あなたの気持ちに最も近い番号を選び、○印をつけてください。(各単数回答)

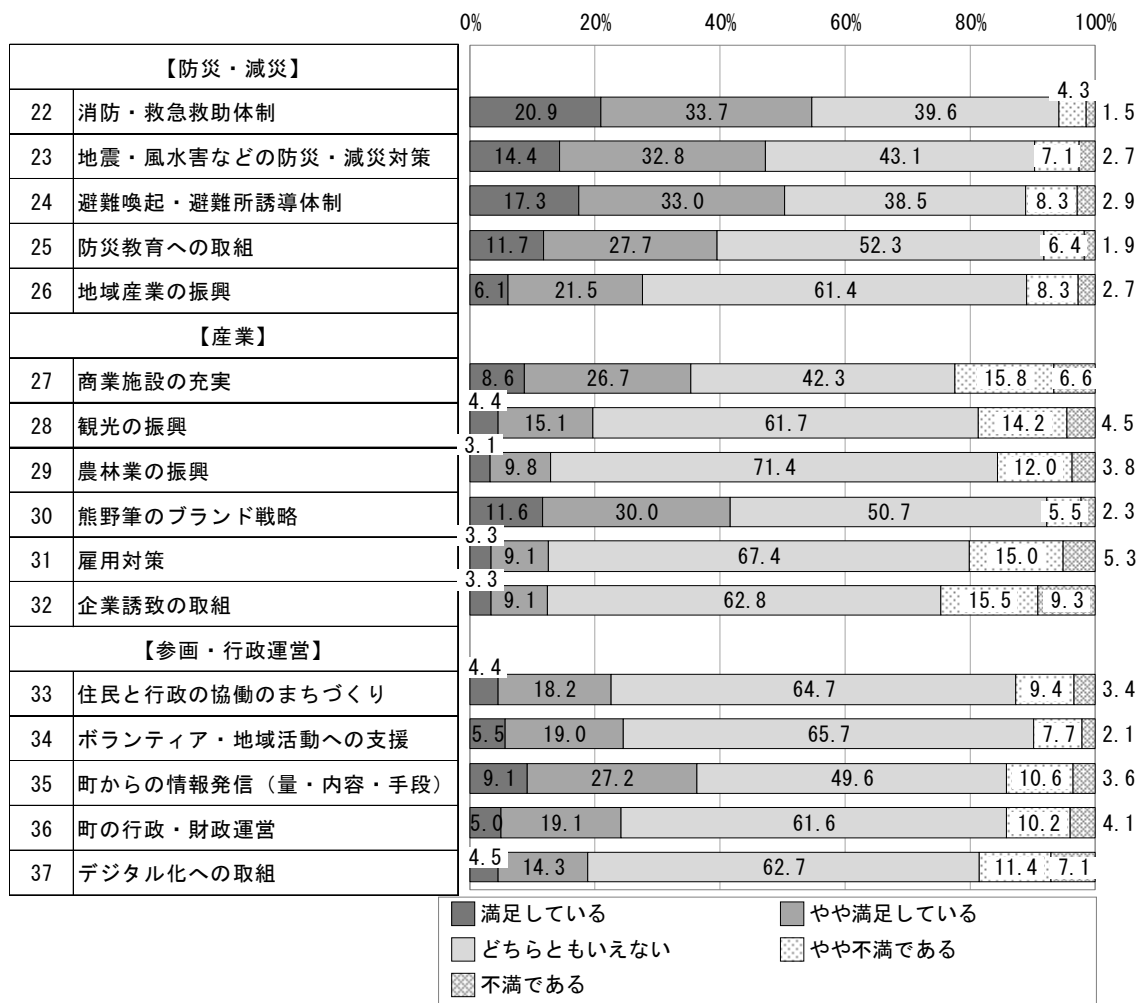
施策の満足度では、「消防・救急救助体制」が最も多く20.9%、次いで「避難喚起・避難所誘導體制」が17.3%、「地震・風水害などの防災・減災対策」が14.4%と続いています。

施策の不満足度では、「路線バスの利便性」が最も多く22.4%、次いで「道路の整備」が14.6%、「空き家・荒地対策」が11.4%と続いています。

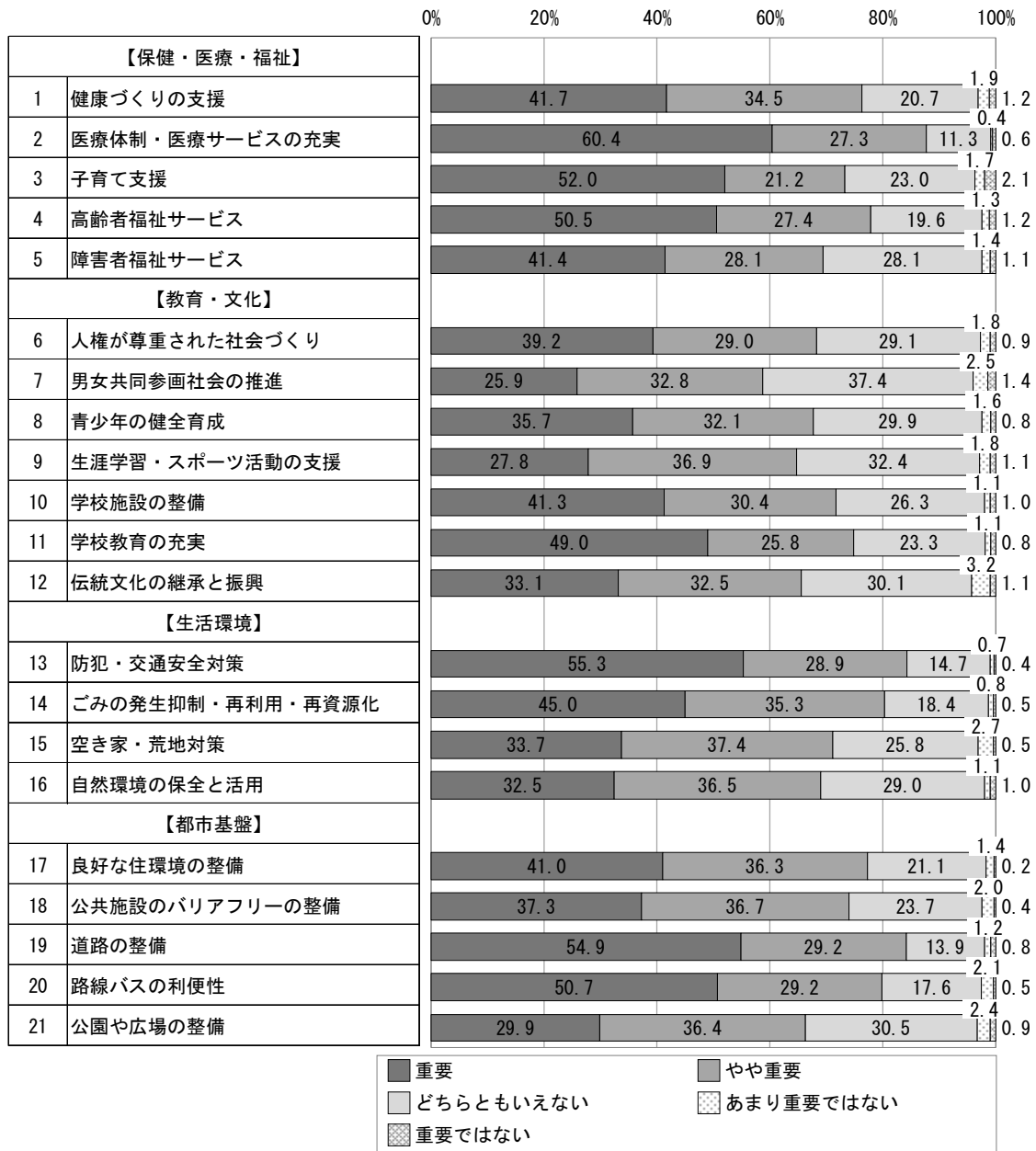
施策の重要度では、「消防・救急救助体制」が最も多く64.3%、次いで「地震・風水害などの防災・減災対策」が62.7%、「医療体制・医療サービスの充実」が60.4%と続いています。

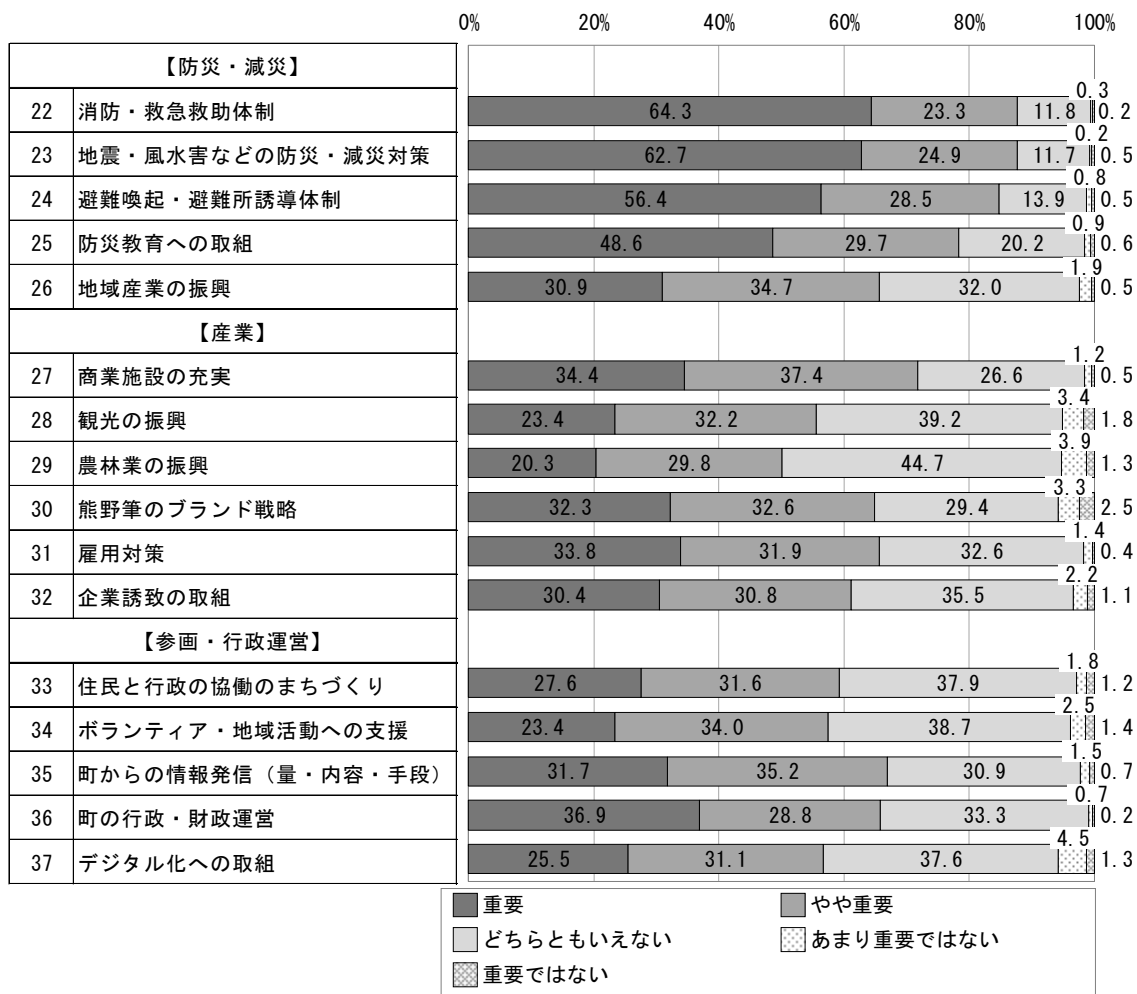
【満足度（令和5年度）】





【重要度（令和5年度）】





【満足度・重要度の評価】

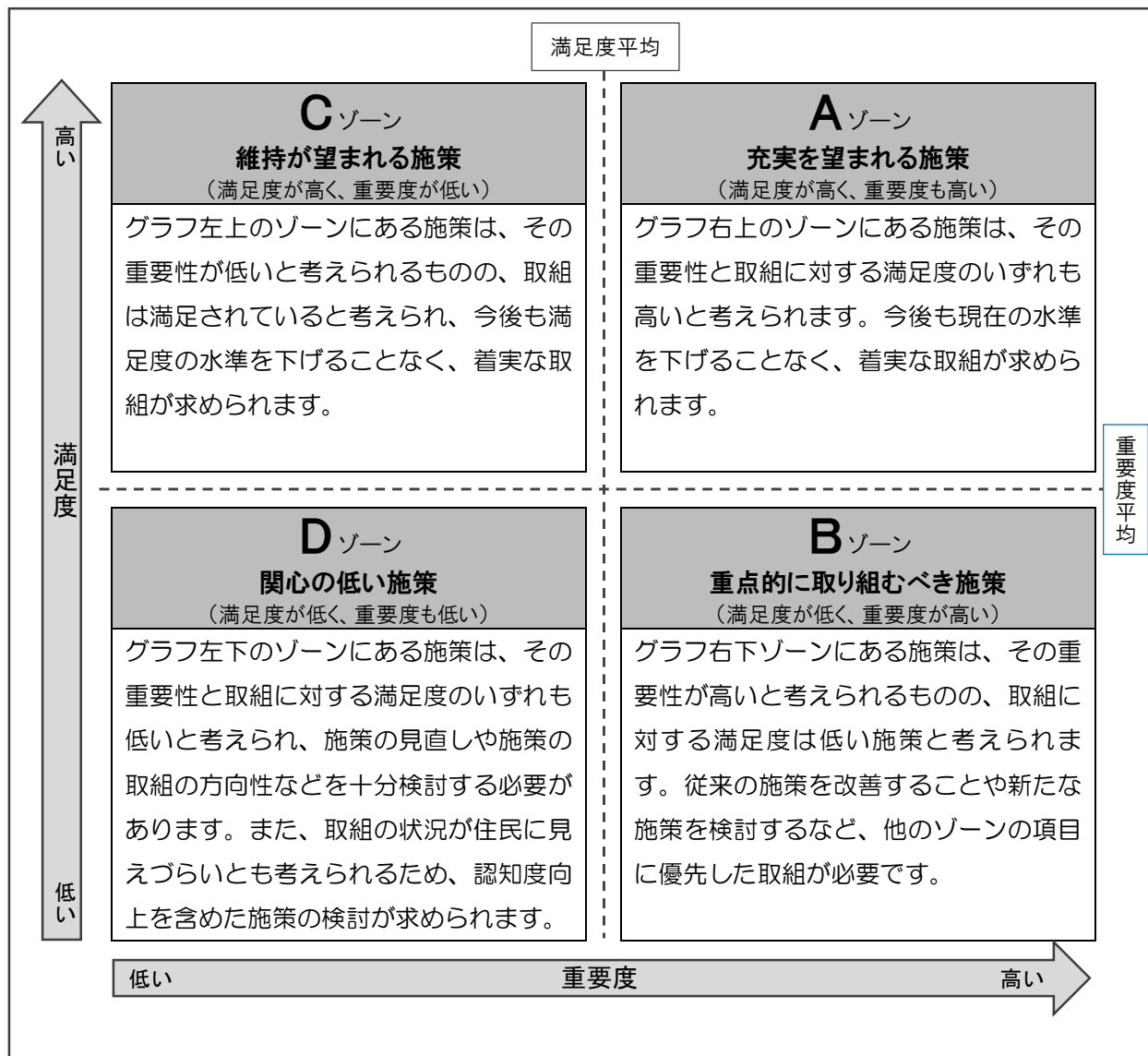
調査結果をもとに、質問項目別に満足度と重要度を集計しました。満足度・重要度の考え方は以下のとおりです。

①満足度スコア：「満足している」「やや満足している」と回答した人の割合－「やや不満である」「不満である」と回答した人の割合

②重要度スコア：「重要」「やや重要」と回答した人の割合－「あまり重要ではない」「重要ではない」と回答した人の割合

※無回答については、スコアから除外しています。

■ 4つのゾーンの整理及びゾーンの見方について



施策の満足度の評価をみると、37項目のうち、第1位は48.8%、第37位は-31.4%で80.2ポイントの乖離があります。

最も満足度が高いのは「消防・救急救助体制」、次いで「避難喚起・避難所誘導體制」「地震・風水害などの防災・減災対策」「健康づくりの支援」「伝統文化の継承と振興」で、これらが上位5位を占めています。

一方、最も満足度が低いのは、「路線バスの利便性」、次いで「空き家・荒地対策」「企業誘致の取組」「道路の整備」「雇用対策」で、これらが下位5位を占め、交通、産業について満足度が低くなっています。

施策の重要度を数値化した値でみると、37項目のうち、第1位は87.1%、第37位は44.9%で42.2ポイントの開きがあります。

重要度がマイナスになった項目はなく、すべてにおいて重要性が勝っている結果となっています。

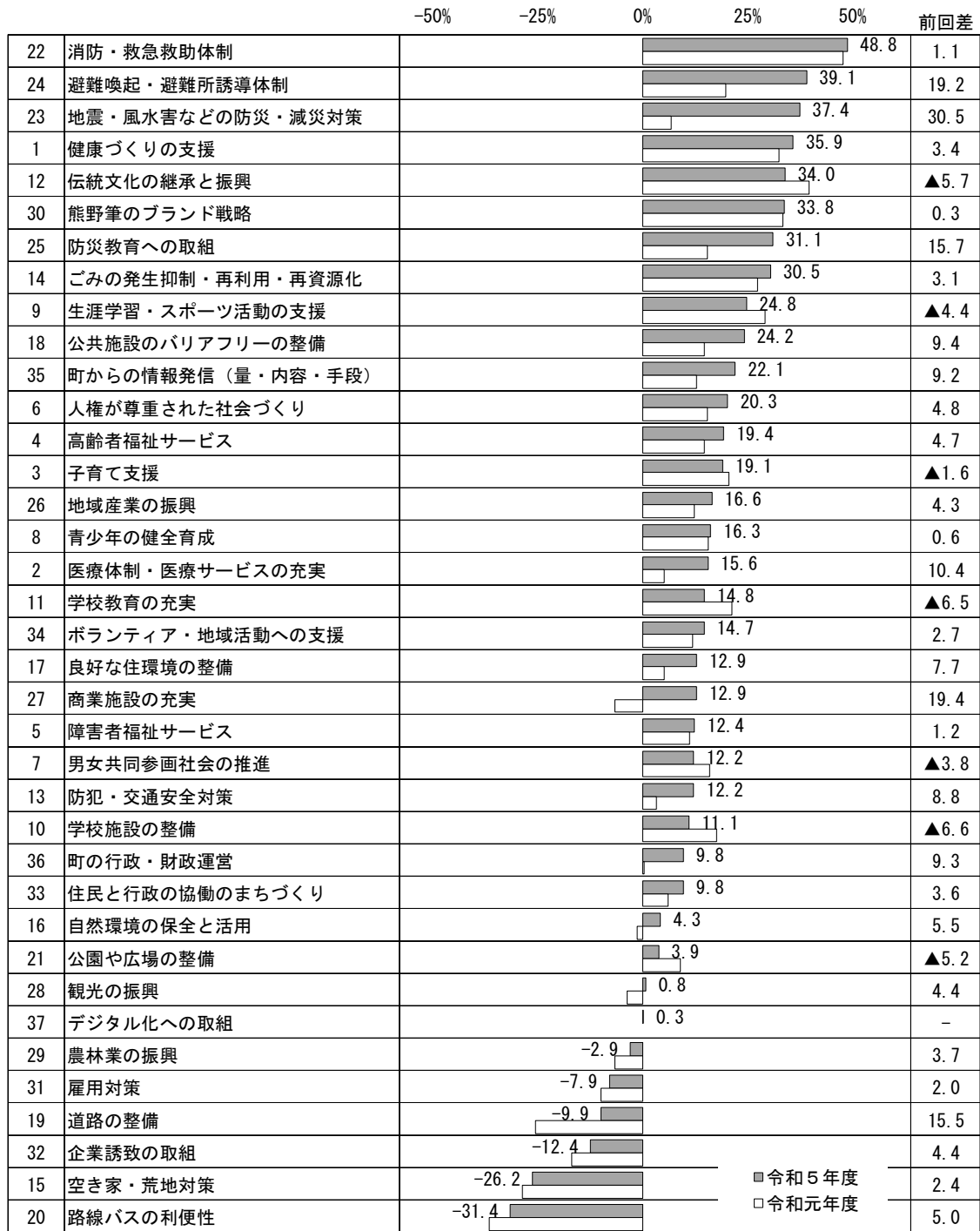
最も重要度が高いのは「消防・救急救助体制」、次いで「地震・風水害などの防災・減災対策」「医療体制・医療サービスの充実」「避難喚起・避難所誘導體制」「防犯・交通安全対策」でこれらが上位5位を占め、防災・減災について重要度が高くなっています。

一方、最も重要度が低いのは、「農林業の振興」、次いで「観光の振興」「デジタル化への取組」「ボランティア・地域活動への支援」「男女共同参画社会の推進」で、これらが下位5位を占め、産業について重要度が低くなっています。

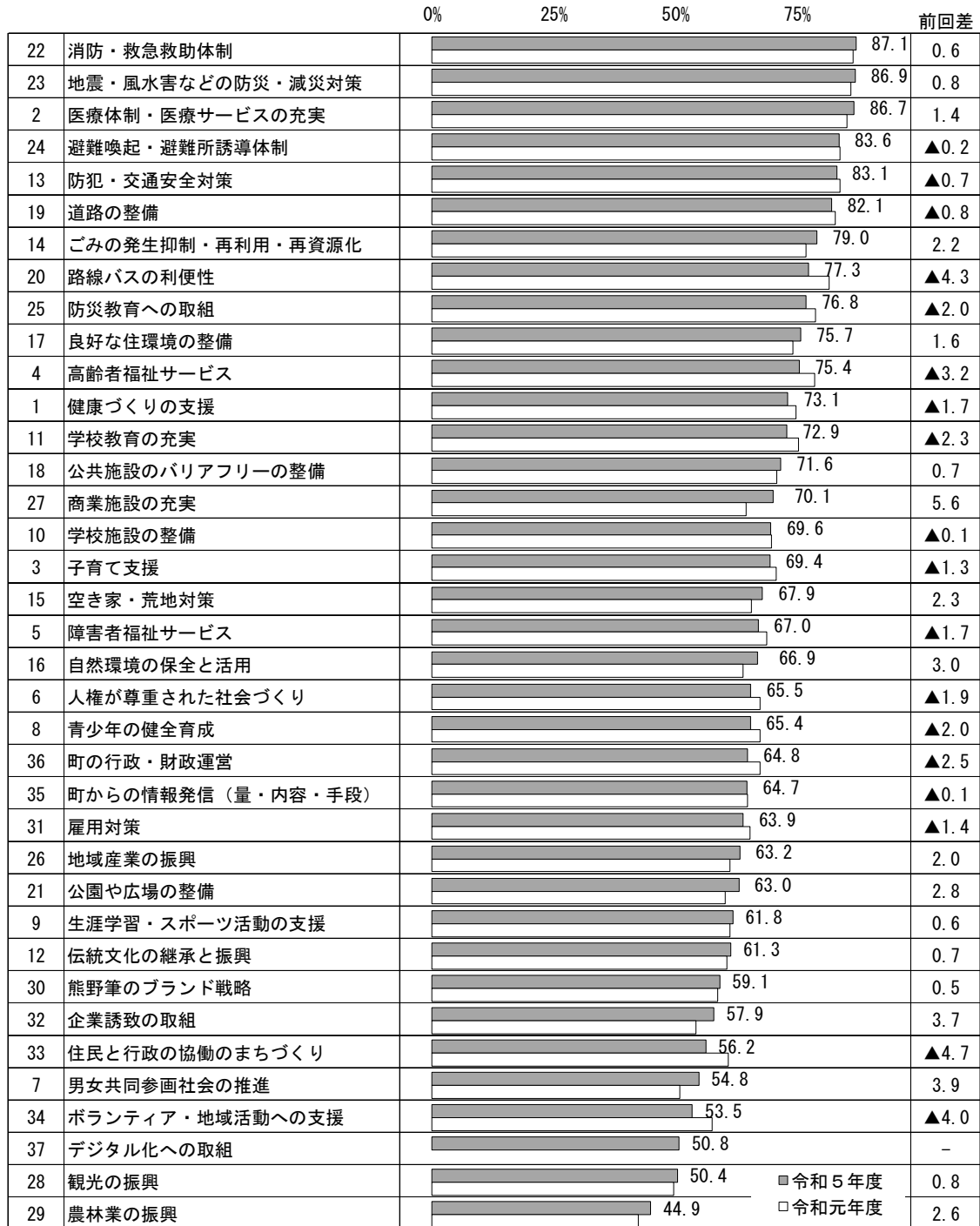
重要度が高いのに、満足度が低い項目のうち、特に改善が求められるもの（重要度が上位10位以内で、満足度が下位10位以内）は、「道路の整備」と「路線バスの利便性」となっています。

特に改善が求められるものについて、前回調査結果と同様の結果となりました。

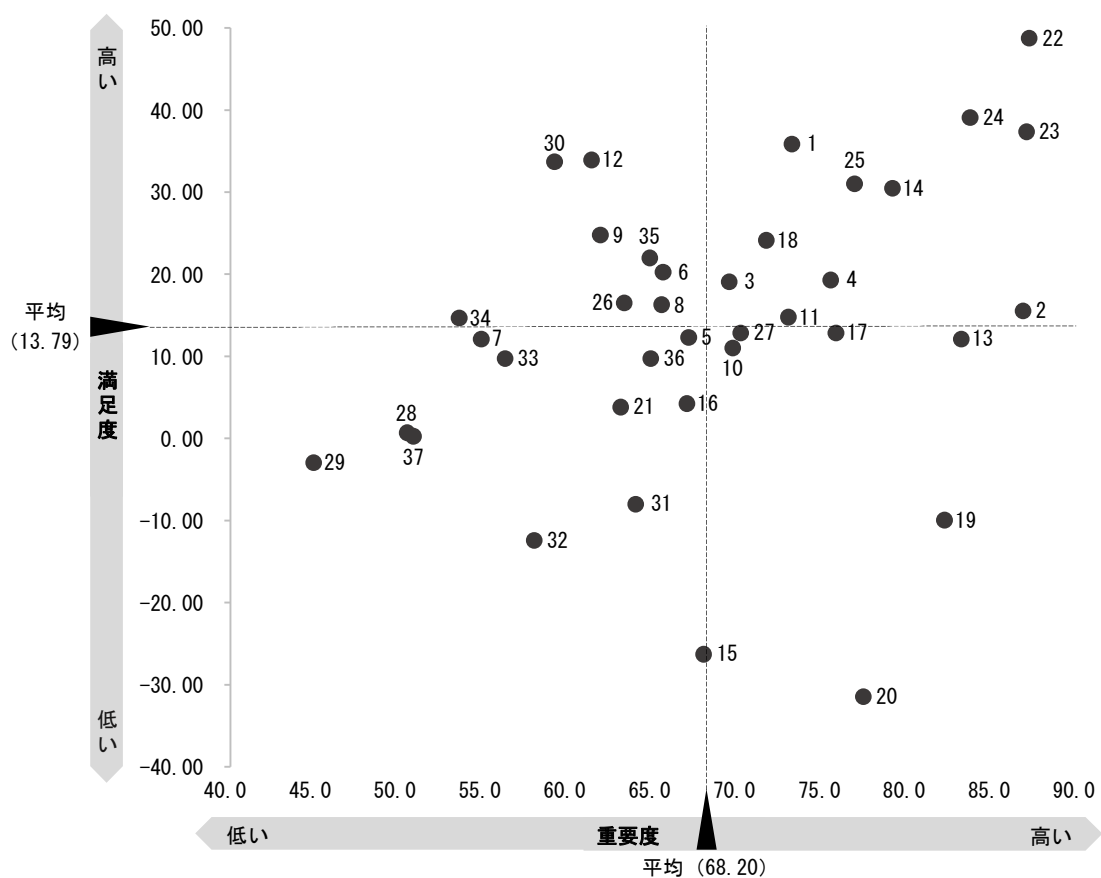
【37の施策に対する満足度スコアによる前回調査との比較】



【37 の施策に対する重要度スコアによる前回調査との比較】

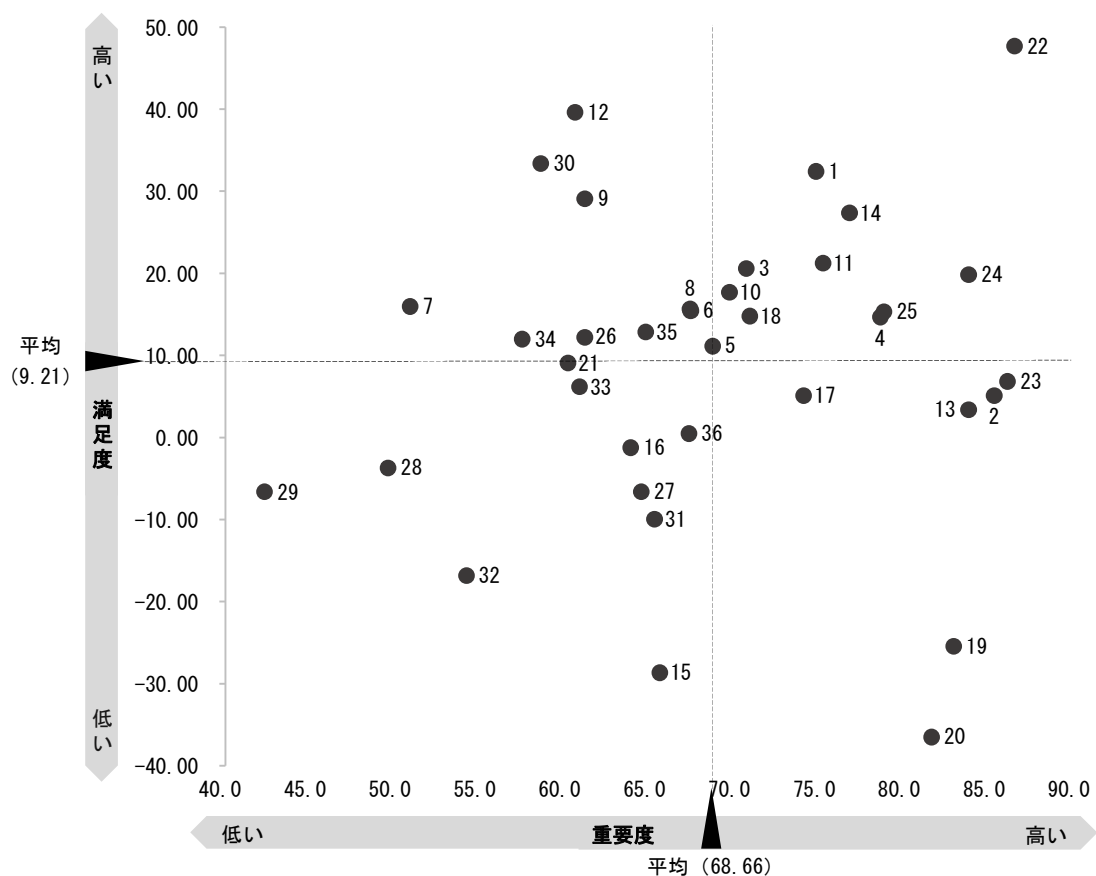


【満足度・重要度（全町）】（令和5年）



1	健康づくりの支援	20	路線バスの利便性
2	医療体制・医療サービスの充実	21	公園や広場の整備
3	子育て支援	22	消防・救急救助体制
4	高齢者福祉サービス	23	地震・風水害などの防災・減災対策
5	障害者福祉サービス	24	避難喚起・避難所誘導体制
6	人権が尊重された社会づくり	25	防災教育への取組
7	男女共同参画社会の推進	26	地域産業の振興
8	青少年の健全育成	27	商業施設の充実
9	生涯学習・スポーツ活動の支援	28	観光の振興
10	学校施設の整備	29	農林業の振興
11	学校教育の充実	30	熊野筆のブランド戦略
12	伝統文化の継承と振興	31	雇用対策
13	防犯・交通安全対策	32	企業誘致の取組
14	ごみの発生抑制・再利用・再資源化	33	住民と行政の協働のまちづくり
15	空き家・荒地対策	34	ボランティア・地域活動への支援
16	自然環境の保全と活用	35	町からの情報発信（量・内容・手段）
17	良好な住環境の整備	36	町の行政・財政運営
18	公共施設のバリアフリーの整備	37	デジタル化への取組
19	道路の整備		

【満足度・重要度（全町）】（令和元年）



1	健康づくりの支援	20	路線バスの利便性
2	医療体制・医療サービスの充実	21	公園や広場の整備
3	子育て支援	22	消防・救急救助体制
4	高齢者福祉サービス	23	地震・風水害などの防災・減災対策
5	障害者福祉サービス	24	避難喚起・避難所誘導體制
6	人権が尊重された社会づくり	25	防災教育への取組
7	男女共同参画社会の推進	26	地域産業の振興
8	青少年の健全育成	27	商業施設の充実
9	生涯学習・スポーツ活動の支援	28	観光の振興
10	学校施設の整備	29	農林業の振興
11	学校教育の充実	30	熊野筆のブランド戦略
12	伝統文化の継承と振興	31	雇用対策
13	防犯・交通安全対策	32	企業誘致の取組
14	ごみの発生抑制・再利用・再資源化	33	住民と行政の協働のまちづくり
15	空き家・荒地対策	34	ボランティア・地域活動への支援
16	自然環境の保全と活用	35	町からの情報発信（量・内容・手段）
17	良好な住環境の整備	36	町の行政・財政運営
18	公共施設のバリアフリーの整備		
19	道路の整備		

問9 あなたは保健・医療・福祉の分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。（複数回答）

力を入れていくべき保健・医療・福祉の分野について、「夜間・休日診療や救急医療体制の充実」が最も多く57.3%、次いで「高齢者や障害者の移動手段の確保」が47.7%、「国民健康保険や後期高齢者医療の安定運営」が46.6%と続いています。

年代別では、年代が上がるほど「国民健康保険や後期高齢者医療の安定運営」の割合が、年代が下がるほど「出産や子育てに関する相談体制の充実」の割合が高くなる傾向にあります（一部年代を除く）。

地域別では、『東部』で「生活困窮家庭への支援」が38.1%と最も多くなっています。前回調査結果と比べ「こども医療費助成などの充実」などが増加しました。

(%)	夜間・休日診療や救急医療体制の充実	高齢者や障害者の移動手段の確保	国民健康保険や後期高齢者医療の運営	介護サービスや介護予防事業の充実	健康診査などの健康増進事業の充実や健康づくり活動への支援	こども医療費助成などの充実	高齢者の生きがいづくりや社会参加の場の確保	出産や子育てに関する相談体制の充実	生活困窮家庭への支援	住民同士が支え合う地域福祉活動への支援	虐待防止対策の充実	ひとり親家庭に対する支援	児童クラブなど学童保育の充実	感染症対策の充実	障害者への各種サービスの充実	保育園での多様な保育サービスの充実	その他
全体 (n=942)	57.3	47.7	46.6	39.3	39.0	33.8	31.4	28.7	25.6	25.6	25.2	21.9	20.5	20.3	20.0	15.8	2.0
【年代別】																	
20代以下 (n=90)	50.0	24.4	11.1	18.9	24.4	51.1	21.1	56.7	21.1	18.9	31.1	31.1	30.0	10.0	16.7	31.1	2.2
30代 (n=76)	68.4	35.5	27.6	21.1	38.2	64.5	15.8	40.8	25.0	13.2	32.9	23.7	36.8	11.8	17.1	35.5	2.6
40代 (n=118)	60.2	44.1	28.8	39.8	27.1	52.5	27.1	30.5	23.7	22.0	33.9	16.1	29.7	14.4	17.8	22.9	4.2
50代 (n=157)	66.2	53.5	43.9	43.9	40.8	31.2	43.3	24.2	19.1	25.5	22.9	17.8	17.8	20.4	24.8	15.3	3.2
60代 (n=126)	59.5	47.6	53.2	50.0	42.1	31.0	31.7	31.7	32.5	19.0	23.0	19.0	19.0	21.4	18.3	15.1	0.0
70代 (n=208)	50.0	52.9	61.1	41.8	39.9	18.8	30.3	19.7	26.4	32.7	22.6	23.1	16.3	23.6	19.7	7.2	2.4
80歳以上 (n=161)	52.8	57.8	67.7	42.9	50.9	19.9	38.5	19.3	30.4	34.2	19.9	25.5	10.6	29.2	22.4	5.6	0.0
【地域別】																	
中央部南西 (n=289)	60.6	49.5	45.3	40.1	40.1	37.0	30.1	31.1	30.1	24.6	30.1	22.5	26.3	20.1	23.9	15.6	2.8
中央部北東 (n=253)	56.5	42.3	51.4	40.3	40.7	30.0	29.6	24.9	21.7	22.5	25.7	20.9	17.4	19.4	15.0	13.4	1.2
東部 (n=97)	57.7	53.6	50.5	39.2	38.1	30.9	32.0	23.7	38.1	29.9	23.7	26.8	14.4	26.8	22.7	15.5	3.1
西部 (n=297)	54.5	49.5	42.8	37.4	36.7	34.7	34.3	31.0	20.5	27.6	20.9	20.9	19.9	18.9	19.5	18.5	1.7
【経年比較】																	
令和5年度 (n=942)	57.3	47.7	46.6	39.3	39.0	33.8	31.4	28.7	25.6	25.6	25.2	21.9	20.5	20.3	20.0	15.8	2.0
令和元年度 (n=1,089)	58.9	50.0	56.3	45.0	40.6	25.3	35.1	26.1	20.5	29.6	26.1	22.1	20.1	14.5	24.3	13.4	2.1

問10 あなたは教育・文化の分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。（複数回答）

力を入れていくべき教育・文化の分野について、「いじめ、不登校対策の充実」が最も多く54.9%、次いで「子どもの基礎学力の向上」が47.5%、「道徳教育の充実」が40.7%と続いています。

年代別では、『30代』で「幼児教育の充実」が35.5%と最も多くなっています。

地域別では、『東部』で「青少年の健全育成」が34.1%と最も多くなっています。

前回調査結果と比べ「情報教育の充実」などが増加しました。

(%)	いじめ、不登校対策の充実	子どもの基礎学力の向上	道徳教育の充実	教員の資質の向上	生涯を通じた学びの場の充実	学校施設の改修・整備	青少年の健全育成	情報教育の充実	地域と連携した学校運営（開かれた学校づくり）	伝統文化の保存継承と振興	生涯スポーツの推進	障害児教育の充実	図書館資料の充実	幼児教育の充実	書写書道教育	その他
全体 (n=913)	54.9	47.5	40.7	38.7	29.7	27.4	24.0	22.7	21.5	20.7	20.7	20.2	18.5	16.1	13.6	2.0
【年代別】																
20代以下 (n=90)	64.4	61.1	33.3	38.9	20.0	37.8	18.9	31.1	24.4	14.4	17.8	22.2	20.0	26.7	10.0	3.3
30代 (n=76)	69.7	59.2	47.4	32.9	23.7	43.4	25.0	38.2	23.7	18.4	18.4	27.6	18.4	35.5	18.4	2.6
40代 (n=118)	58.5	55.9	29.7	42.4	28.8	39.8	18.6	28.8	17.8	11.9	24.6	19.5	24.6	18.6	16.9	3.4
50代 (n=154)	50.6	46.8	31.2	35.7	34.4	31.8	16.9	22.1	25.3	26.6	26.0	17.5	22.1	9.7	13.6	3.9
60代 (n=124)	54.8	45.2	37.9	44.4	33.9	25.8	26.6	25.0	21.8	21.8	16.9	21.0	18.5	16.1	15.3	0.8
70代 (n=202)	50.5	39.6	50.0	42.6	24.8	14.9	25.2	15.8	22.8	19.3	20.3	17.8	11.4	9.4	10.4	0.5
80歳以上 (n=143)	49.0	39.2	49.7	31.5	38.5	17.5	34.3	12.6	15.4	28.7	19.6	21.0	18.9	14.0	13.3	0.7
【地域別】																
中央部南西 (n=283)	55.5	49.8	44.9	39.2	25.8	30.4	23.3	24.0	20.1	21.9	22.6	22.6	19.4	15.9	14.5	1.8
中央部北東 (n=244)	55.3	45.5	39.3	43.4	27.9	24.6	23.8	20.5	21.7	22.5	17.2	14.8	19.7	15.2	13.1	2.9
東部 (n=88)	59.1	46.6	47.7	43.2	33.0	18.2	34.1	27.3	29.5	15.9	22.7	31.8	26.1	21.6	19.3	3.4
西部 (n=292)	53.1	46.9	35.6	32.5	33.9	29.8	21.2	21.6	19.9	19.5	21.2	18.5	14.0	15.8	11.3	1.0
【経年比較】																
令和5年度 (n=913)	54.9	47.5	40.7	38.7	29.7	27.4	24.0	22.7	21.5	20.7	20.7	20.2	18.5	16.1	13.6	2.0
令和元年度 (n=1,055)	55.4	45.8	44.5	49.9	29.7	21.7	27.6	16.6	22.6	23.8	23.4	18.8	17.7	16.1	17.3	2.3

問11 あなたは都市基盤や生活環境などの分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。（複数回答）

力を入れていくべき都市基盤や生活環境などの分野について、「狭い道路の解消、歩道の整備など、安全に通行できる道路の整備」が最も多く76.1%、次いで「バス等移動交通手段の確保」が65.3%、「交通安全・防犯対策の推進」が38.1%と続いています。

年代別では、『30代』で「にぎわいの場の整備」が28.9%と最も多くなっています。

地域別では、『東部』で「バス等移動交通手段の確保」が76.0%と最も多くなっています。

前回調査結果と比べ「にぎわいの場の整備」などが増加しました。

(%)	狭い道路の解消、歩道の整備など、安全に通行できる道路の整備	バス等移動交通手段の確保	交通安全・防犯対策の推進	ごみの減量化やリサイクルの推進	身近な公園や緑地の整備	地球温暖化対策の推進	美しいまち並みの保存・形成や里山・水辺の整備	公共施設などのバリアフリー化の推進	自然環境の保全	にぎわいの場の整備	情報化社会の進展に対応できる情報通信基盤の整備	消費者保護施策の推進	その他
全体 (n=951)	76.1	65.3	38.1	30.2	26.5	24.0	22.3	22.1	21.0	16.5	15.5	7.4	1.1
【年代別】													
20代以下 (n=94)	70.2	59.6	40.4	20.2	35.1	13.8	31.9	20.2	18.1	22.3	12.8	3.2	1.1
30代 (n=76)	89.5	64.5	46.1	23.7	39.5	17.1	34.2	22.4	17.1	28.9	19.7	5.3	0.0
40代 (n=118)	84.7	73.7	38.1	26.3	30.5	29.7	22.9	20.3	23.7	22.0	22.9	8.5	0.8
50代 (n=158)	75.3	66.5	39.2	24.1	20.9	24.1	25.9	23.4	22.2	22.2	19.6	5.7	1.9
60代 (n=129)	85.3	57.4	40.3	30.2	24.8	24.0	17.8	23.3	17.8	10.9	18.6	9.3	0.8
70代 (n=209)	72.2	64.1	33.5	40.7	20.6	26.8	20.1	18.2	21.1	9.6	9.6	5.7	1.0
80歳以上 (n=161)	65.2	70.2	36.6	34.8	26.7	24.2	14.3	27.3	24.2	11.8	10.6	12.4	1.2
【地域別】													
中央部南西 (n=289)	78.2	65.1	38.8	31.8	29.1	23.9	24.2	23.2	18.0	20.4	17.6	8.3	2.1
中央部北東 (n=256)	82.0	64.1	39.1	29.3	28.1	21.9	21.1	23.8	18.8	12.9	17.2	5.9	0.4
東部 (n=100)	78.0	76.0	34.0	29.0	21.0	22.0	15.0	23.0	25.0	18.0	13.0	13.0	1.0
西部 (n=300)	68.3	63.0	38.0	29.7	24.0	26.0	24.0	19.0	24.3	15.3	12.3	5.7	0.7
【経年比較】													
令和5年度 (n=951)	76.1	65.3	38.1	30.2	26.5	24.0	22.3	22.1	21.0	16.5	15.5	7.4	1.1
令和元年度 (n=1,092)	73.8	66.2	44.9	32.0	24.2	25.1	21.2	23.9	19.8	12.9	12.3	9.5	2.6

問12 地震や大雨などの災害に対して、特に不安に思うことは何ですか。(複数回答)

地震や大雨などの災害に対して、特に不安に思うことについて、「大地震により建物・家屋が倒壊すること」が最も多く62.0%、次いで「大雨により浸水・土石流などの被害にあうこと」が53.0%、「災害発生時に地滑り・がけ崩れが起こること」が39.3%と続いています。

年代別では、『20代以下』で「普段生活している場所の危険性がわからないこと」が19.6%と最も多くなっています。

地域別では、『東部』で「災害発生時に地滑り・がけ崩れが起こること」が50.5%と最も多くなっています。

前回調査結果と比べ「避難所での食事のこと」などが増加しました。

	(%)	大地震により建物・家屋が倒壊すること	大雨により浸水・土石流などの被害にあうこと	災害発生時に地滑り・がけ崩れが起こること	避難所の受け入れ環境	避難所での食事のこと	避難時の呼びかけや助け合いなど、地域のつながりが希薄なこと	避難のタイミングがわからないこと	避難行動が取れない人がいること	災害発生時に家族の中一人で避難すること	災害発生時に避難所までの安全・確認な経路がないこと	災害発生時に避難所まで行けないこと	災害発生時に避難所が遠く、または移動手段がなく避難所まで行けないこと	普段生活している場所の危険性がわからないこと	災害発生時にどこに避難すれば良いかわからないこと	警戒レベルなどの避難情報で使われる言葉がわからないこと	その他	特に不安はない
全体 (n=949)		62.0	53.0	39.3	26.1	24.8	21.9	16.3	13.3	13.1	11.0	10.7	9.3	6.8	3.5	4.3	5.6	
【年代別】																		
20代以下 (n=92)		56.5	67.4	56.5	25.0	27.2	17.4	16.3	8.7	20.7	12.0	6.5	19.6	6.5	3.3	3.3	5.4	
30代 (n=76)		51.3	63.2	39.5	30.3	36.8	22.4	17.1	19.7	11.8	15.8	6.6	11.8	10.5	5.3	5.3	7.9	
40代 (n=117)		65.0	69.2	47.9	23.9	23.9	16.2	18.8	6.8	18.8	8.5	3.4	6.0	3.4	6.8	6.0	1.7	
50代 (n=158)		60.1	53.2	49.4	29.7	22.8	17.7	11.4	17.1	15.8	10.1	5.1	3.8	3.2	3.2	6.3	3.2	
60代 (n=127)		65.4	52.8	31.5	31.5	30.7	26.0	17.3	9.4	9.4	14.2	14.2	11.0	7.9	1.6	5.5	4.7	
70代 (n=210)		64.8	42.9	33.3	24.8	21.9	27.1	18.1	10.0	11.0	8.6	12.4	10.0	6.2	1.4	3.8	8.1	
80歳以上 (n=163)		62.0	42.3	27.0	21.5	19.6	23.3	16.0	21.5	8.6	11.7	20.9	8.0	11.7	4.9	1.2	7.4	
【地域別】																		
中央部南西 (n=287)		61.7	55.4	37.6	23.7	26.1	27.2	20.2	14.3	12.2	12.9	13.9	11.8	9.1	3.5	4.2	5.2	
中央部北東 (n=256)		65.6	59.8	40.2	27.7	25.0	19.5	13.3	12.9	12.5	14.1	14.1	5.9	7.4	4.7	5.1	3.5	
東部 (n=99)		59.6	61.6	50.5	25.3	26.3	23.2	16.2	12.1	12.1	10.1	9.1	14.1	5.1	2.0	6.1	3.0	
西部 (n=301)		59.1	42.2	35.9	27.6	22.6	18.6	15.0	13.0	14.6	6.6	5.0	8.0	4.7	2.7	3.0	8.6	
【経年比較】																		
令和5年度 (n=949)		62.0	53.0	39.3	26.1	24.8	21.9	16.3	13.3	13.1	11.0	10.7	9.3	6.8	3.5	4.3	5.6	
令和元年度 (n=1,089)		67.9	54.3	43.6	32.0	21.9	25.4	20.0	14.7	15.5	12.9	14.4	13.9	9.2	5.9	7.0	3.7	

問13 ご家庭で、日頃からどのような防災・減災対策に取り組まれていますか。
(複数回答)

日頃から取り組んでいる防災・減災対策について、「スマートフォン等での防災情報の収集」が最も多く44.0%、次いで「食料・水などの備蓄」が40.0%、「普段生活している場所の危険箇所の把握」が27.1%と続いています。

年代別では、『40代』で「家族間での連絡方法や避難場所の確認」が33.9%と最も多くなっています。

地域別では、『東部』で「食料・水などの備蓄」が45.9%と最も多くなっています。

前回調査結果と比べ「スマートフォン等での防災情報の収集」が増加しました。

(%)	スマートフォン等での防災情報の収集	食料・水などの備蓄	普段生活している場所の危険箇所の把握	非常用持ち出し袋の準備	家族間での連絡方法や避難場所の確認	家具の固定（地震対策）	近隣住民とのコミュニケーション強化	防災に関する訓練や講座などへの参加	その他	特に何もしていない
全体 (n=948)	44.0	40.0	27.1	24.1	19.6	15.6	11.3	2.7	0.6	17.1
【年代別】										
20代以下 (n=94)	47.9	37.2	20.2	18.1	22.3	10.6	3.2	3.2	0.0	24.5
30代 (n=75)	57.3	42.7	16.0	20.0	22.7	8.0	10.7	0.0	0.0	17.3
40代 (n=118)	44.1	49.2	33.1	26.3	33.9	21.2	7.6	0.8	0.8	7.6
50代 (n=154)	59.1	44.8	29.2	23.4	17.5	16.2	11.0	3.2	1.3	14.3
60代 (n=130)	56.2	40.0	30.8	20.8	16.9	12.3	9.2	3.1	0.8	16.2
70代 (n=210)	35.2	39.0	26.2	24.8	14.8	16.7	15.7	4.3	0.0	20.0
80歳以上 (n=161)	21.7	29.2	29.2	29.2	17.4	18.6	15.5	2.5	1.2	19.9
【地域別】										
中央部南西 (n=288)	42.0	36.8	25.7	26.4	20.5	16.3	9.7	2.1	0.0	17.4
中央部北東 (n=258)	46.1	39.9	26.0	22.9	15.9	15.5	10.9	2.7	0.8	21.7
東部 (n=98)	44.9	45.9	27.6	24.5	15.3	11.2	16.3	5.1	1.0	11.2
西部 (n=298)	43.0	40.6	29.5	22.1	23.5	16.1	11.7	2.7	1.0	15.1
【経年比較】										
令和5年度 (n=948)	44.0	40.0	27.1	24.1	19.6	15.6	11.3	2.7	0.6	17.1
令和元年度 (n=1,082)	36.2	40.9	28.7	25.3	23.1	16.4	16.5	6.1	0.9	22.8

問14 あなたは防災・減災の分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。（複数回答）

力を入れていくべき防災・減災の分野について、「災害時における確実な情報伝達手段の確保・充実」が最も多く53.8%、次いで「排水路の整備や、ため池の改修・補強」が38.6%、「緊急車両の通行や安全に避難できる道路の整備」が36.8%と続いています。

年代別では、『30代』で「避難所受け入れ環境の整備（高齢者・障害者・妊婦・乳幼児などの要配慮者、ペット同伴などの対応）」が47.3%と最も多くなっています。

地域別では、『東部』で「地域の危険箇所や過去の大災害の事例、避難所・避難ルートの周知」が31.8%と最も多くなっています。

前回調査結果と比べすべての選択肢でポイントが減少しました。

(%)	災害時における確実な情報伝達・手段の確保	排水路の整備や、ため池の改修・補強	緊急車両の通行や安全に避難できる道路の整備	避難所受け入れ環境の整備（高齢者・要配慮者、障害者・妊婦・乳幼児などの対応）	自治会館、各地区の集会所、大型店舗駐車場等の一時避難所としての活用	地域の危険箇所や過去の災害事例、避難所・避難ルートの大災害の周知	自主防災組織など地域での防災体制の構築や、活動支援	防災訓練や防災教育・講座など住民の防災意識を高めること	その他
全体 (n=910)	53.8	38.6	36.8	35.7	30.5	26.3	13.3	12.9	1.3
【年代別】									
20代以下 (n=91)	62.6	33.0	33.0	36.3	14.3	27.5	8.8	19.8	0.0
30代 (n=74)	50.0	44.6	44.6	47.3	24.3	27.0	14.9	17.6	1.4
40代 (n=114)	56.1	49.1	46.5	31.6	27.2	21.9	12.3	14.0	0.0
50代 (n=152)	58.6	44.1	34.9	41.4	29.6	24.3	13.2	9.2	1.3
60代 (n=129)	55.8	40.3	48.8	35.7	34.1	23.3	14.7	8.5	0.8
70代 (n=201)	46.8	38.3	28.9	32.3	36.3	27.4	13.4	10.9	2.0
80歳以上 (n=143)	51.0	23.8	30.8	32.2	36.4	32.2	14.7	16.1	2.1
【地域別】									
中央部南西 (n=279)	53.4	35.8	40.5	32.6	35.1	27.6	12.5	13.3	1.4
中央部北東 (n=249)	45.8	47.8	40.6	36.1	34.9	26.9	14.1	12.4	0.8
東部 (n=88)	56.8	46.6	34.1	37.5	30.7	31.8	18.2	12.5	3.4
西部 (n=288)	60.1	30.6	30.9	37.8	21.9	22.9	11.5	12.8	0.7
【経年比較】									
令和5年度 (n=910)	53.8	38.6	36.8	35.7	30.5	26.3	13.3	12.9	1.3
令和元年度 (n=1,041)	62.4	40.1	39.8	37.5	32.6	32.0	17.3	22.2	1.6

問15 あなたは産業の振興に向けて、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。（複数回答）

力を入れていくべき産業の振興の取組について、「企業誘致の取組など新たな産業の振興」が最も多く42.0%、次いで「地元商店の活性化」が37.4%、「新規就農者の育成や荒廃農地対策」が33.9%と続いています。

年代別では、『80歳以上』で「地元商店の活性化」が46.6%と最も多くなっています。

地域別では、『東部』で「新規就農者の育成や荒廃農地対策」が44.0%と最も多くなっています。

前回調査結果と比べ「企業誘致の取組など新たな産業の振興」などが増加しました。

(%)	企業誘致の取組など新たな産業の振興	地元商店の活性化	新規就農者の育成や荒廃農地対策	熊野筆のPRやブランド戦略の推進	筆職人の後継者育成の支援	特産品の開発	農商工業の連携による地産地消の振興	筆の里工房などの筆文化事業の振興	商工会・筆組合への支援や連携	その他
全体 (n=862)	42.0	37.4	33.9	28.0	22.9	21.1	19.1	15.7	6.0	1.2
【年代別】										
20代以下 (n=87)	34.5	34.5	19.5	31.0	27.6	20.7	16.1	18.4	3.4	1.1
30代 (n=73)	45.2	41.1	30.1	35.6	30.1	26.0	11.0	13.7	8.2	1.4
40代 (n=114)	47.4	38.6	37.7	26.3	28.1	16.7	16.7	13.2	6.1	0.0
50代 (n=147)	47.6	36.7	36.1	29.3	29.9	21.8	16.3	17.0	6.8	2.7
60代 (n=119)	48.7	37.0	42.0	24.4	14.3	19.3	23.5	16.0	8.4	0.0
70代 (n=187)	40.1	31.0	38.0	24.1	16.6	21.4	23.0	13.4	4.3	1.6
80歳以上 (n=131)	29.8	46.6	27.5	31.3	20.6	22.9	21.4	18.3	6.1	0.8
【地域別】										
中央部南西 (n=271)	41.7	36.9	34.3	22.5	25.5	16.6	23.6	15.1	6.6	0.0
中央部北東 (n=225)	43.1	33.3	36.0	33.3	20.4	20.4	19.6	19.6	8.4	2.2
東部 (n=84)	45.2	28.6	44.0	32.1	21.4	29.8	21.4	16.7	7.1	2.4
西部 (n=278)	39.6	43.5	28.8	28.1	23.0	23.4	14.0	12.6	3.2	1.1
【経年比較】										
令和5年度 (n=862)	42.0	37.4	33.9	28.0	22.9	21.1	19.1	15.7	6.0	1.2
令和元年度 (n=997)	38.0	37.0	32.4	32.5	25.7	22.8	23.2	17.5	7.0	3.1

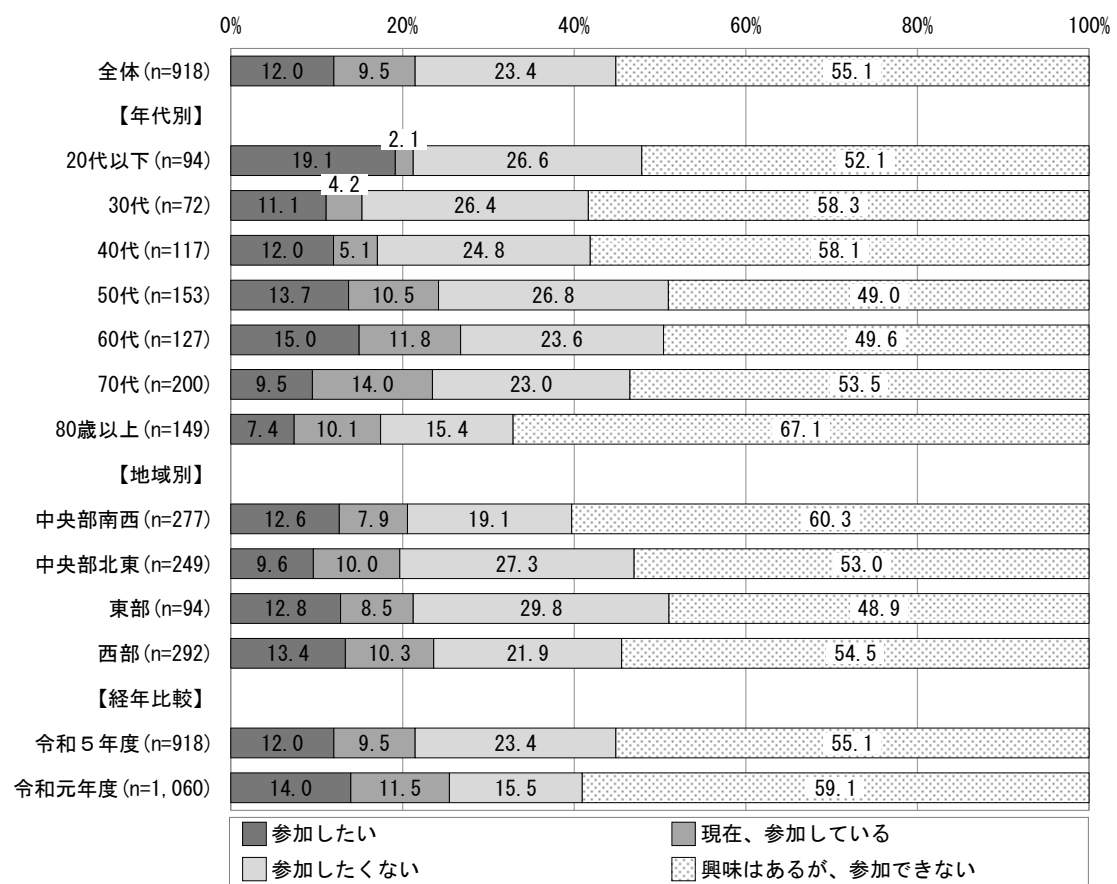
**問16 あなたは、地域活動やボランティア活動、協働のまちづくりに参加したい
と思いますか。（単数回答）**

地域活動やボランティア活動、協働のまちづくりへの参加意向について、「興味はあるが、参加できない」が最も多く55.1%、次いで「参加したくない」が23.4%、「参加したい」が12.0%と続いています。

年代別では、『80歳以上』で「興味はあるが、参加できない」が67.1%と最も多くなっています。

地域別では、『中央部南西』で「興味はあるが、参加できない」が60.3%と最も多くなっています。

前回調査結果と比べ「参加したくない」が増加しました。



※ 問16で「1. 参加したい」「2. 現在、参加している」を選択した方におうかがいします。

問17 どんな分野に参加したいですか。また、参加していますか。（複数回答）

どんな分野に参加したいかについて、「地域の行事、自治会の活動」が最も多く39.4%、次いで「健康づくり活動、スポーツ・レクリエーション活動」が35.6%、「まちの美化活動、自然保護活動」が30.3%と続いています。

年代別では、『20代以下』で「観光交流に関する活動」が30.0%と最も多くなっています。

地域別では、『東部』で「健康づくり活動、スポーツ・レクリエーション活動」が47.4%と最も多くなっています。

前回調査結果と比べ「まちの美化活動、自然保護活動」などが増加しました。

(%)	地域の行事、自治会の活動	健康づくり活動、レクリエーション活動・	まちの美化活動、自然保護活動	高齢者・障害者の支援活動	子育て支援活動、青少年の健全育成活動	交通安全・防犯・防災活動	地域の伝統・文化の継承活動	まちづくりに関するワークショップなど	観光交流に関する活動	その他
全体 (n=188)	39.4	35.6	30.3	26.1	19.1	14.4	10.1	9.0	8.0	1.1
【年代別】										
20代以下 (n=20)	20.0	25.0	35.0	10.0	30.0	15.0	10.0	15.0	30.0	0.0
30代 (n=11)	36.4	18.2	45.5	0.0	36.4	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0
40代 (n=18)	55.6	38.9	44.4	27.8	27.8	16.7	22.2	11.1	11.1	0.0
50代 (n=36)	33.3	36.1	33.3	27.8	30.6	16.7	8.3	11.1	8.3	2.8
60代 (n=33)	39.4	27.3	30.3	18.2	12.1	15.2	9.1	9.1	6.1	0.0
70代 (n=45)	48.9	37.8	22.2	31.1	8.9	11.1	6.7	11.1	2.2	2.2
80歳以上 (n=23)	39.1	56.5	21.7	47.8	0.0	13.0	8.7	0.0	0.0	0.0
【地域別】										
中央部南西 (n=56)	26.8	33.9	32.1	32.1	10.7	8.9	7.1	10.7	8.9	1.8
中央部北東 (n=46)	52.2	34.8	30.4	23.9	23.9	17.4	21.7	8.7	10.9	2.2
東部 (n=19)	52.6	47.4	15.8	26.3	21.1	15.8	10.5	15.8	5.3	0.0
西部 (n=65)	38.5	33.8	33.8	21.5	20.0	15.4	4.6	6.2	6.2	0.0
【経年比較】										
令和5年度 (n=188)	39.4	35.6	30.3	26.1	19.1	14.4	10.1	9.0	8.0	1.1
令和元年度 (n=263)	38.8	32.7	24.3	22.4	17.5	22.8	7.6	6.8	5.3	3.8

**問18 あなたが地域活動や協働のまちづくりに参加しやすくなるためには何が
必要だと思いますか。（複数回答）**

地域活動や協働のまちづくりに参加しやすくなるために必要なことについて、「参加する時間の確保」が最も多く48.3%、次いで「一緒に活動する仲間の確保」が36.1%、「活動が必要とする人や施設の情報」が27.1%と続いています。

年代別では、『20代以下』で「団体同士の情報共有・ネットワークづくり」が22.2%と最も多くなっています。

地域別では、『東部』で「参加する時間の確保」が53.3%と最も多くなっています。

前回調査結果と比べ「一緒に活動する仲間の確保」などが増加しました。

(%)	参加する時間の確保	一緒に活動する仲間の確保	活動を必要とする人や施設の情報の確保	活動を体験できる場や参加する機会の確保	活動中の事故への補償制度	NPOやボランティア等の活動情報	活動に関する研修や専門家の助言	機材や活動資金の確保	地域活動への職場等の理解	団体同士の情報共有・ネットワークづくり	活動のための事務所や会場の確保	その他
全体 (n=815)	48.3	36.1	27.1	24.5	14.0	12.6	11.8	11.5	10.4	9.6	5.4	4.2
【年代別】												
20代以下 (n=90)	65.6	42.2	23.3	24.4	7.8	10.0	5.6	18.9	7.8	22.2	5.6	4.4
30代 (n=70)	68.6	32.9	22.9	27.1	12.9	12.9	2.9	12.9	10.0	10.0	5.7	1.4
40代 (n=116)	72.4	31.0	23.3	19.0	10.3	8.6	10.3	10.3	16.4	7.8	6.0	1.7
50代 (n=146)	58.9	25.3	32.2	28.8	11.0	18.5	13.7	13.0	16.4	12.3	2.7	4.1
60代 (n=118)	39.8	38.1	27.1	29.7	20.3	11.9	13.6	13.6	11.0	8.5	6.8	3.4
70代 (n=163)	25.8	41.7	27.6	20.2	18.4	10.4	16.6	9.2	3.7	4.9	6.1	4.9
80歳以上 (n=107)	25.2	42.1	29.0	23.4	14.0	15.0	11.2	5.6	7.5	5.6	5.6	8.4
【地域別】												
中央部南西 (n=242)	49.2	33.5	27.3	24.0	12.0	13.6	12.4	13.6	7.0	7.0	6.2	3.3
中央部北東 (n=224)	48.7	37.5	25.9	24.6	17.4	14.3	13.4	10.7	11.2	10.3	5.4	4.5
東部 (n=75)	53.3	41.3	26.7	22.7	14.7	12.0	9.3	14.7	9.3	10.7	5.3	5.3
西部 (n=268)	46.3	35.4	27.6	25.0	12.3	10.1	9.7	9.3	12.7	10.8	4.5	4.5
【経年比較】												
令和5年度 (n=815)	48.3	36.1	27.1	24.5	14.0	12.6	11.8	11.5	10.4	9.6	5.4	4.2
令和元年度 (n=892)	47.3	33.9	25.2	25.4	13.6	14.0	11.1	9.5	11.7	7.4	5.8	4.5

問19 あなたは、行政運営について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。（複数回答）

力を入れていくべき行政運営について、「健全な財政運営」が最も多く38.8%、次いで「住民ニーズの定期的把握と施策への反映」が37.6%、「住民と行政の協働のまちづくり」が33.0%と続いています。

年代別では、『30代』で「住民ニーズの定期的把握と施策への反映」が53.5%と最も多くなっています。

地域別では、『西部』で「住民ニーズの定期的把握と施策への反映」が44.8%と最も多くなっています。

前回調査結果と比べ「情報化による行政サービスの充実」などが増加しました。

(%)	健全な財政運営	住民ニーズの定期的把握と施策への反映	住民と行政の協働のまちづくり	職員の資質向上	行政情報の公開	情報化による行政サービスの充実	近隣市町との広域的な連携の推進	その他
全体 (n=846)	38.8	37.6	33.0	28.4	25.3	22.2	16.5	1.2
【年代別】								
20代以下 (n=89)	37.1	42.7	25.8	23.6	16.9	31.5	13.5	5.6
30代 (n=71)	33.8	53.5	31.0	21.1	25.4	23.9	23.9	0.0
40代 (n=113)	45.1	41.6	19.5	34.5	23.9	20.4	21.2	0.9
50代 (n=145)	44.8	43.4	33.1	27.6	24.8	18.6	15.9	2.1
60代 (n=125)	38.4	33.6	36.8	33.6	30.4	24.0	18.4	0.8
70代 (n=178)	36.5	32.6	39.9	27.0	24.7	17.4	11.8	0.0
80歳以上 (n=120)	33.3	24.2	39.2	27.5	28.3	24.2	16.7	0.0
【地域別】								
中央部南西 (n=254)	38.2	33.9	28.7	31.5	25.2	26.0	16.9	1.2
中央部北東 (n=225)	36.4	35.1	39.1	29.3	27.6	19.6	19.6	1.3
東部 (n=82)	40.2	29.3	41.5	32.9	31.7	20.7	15.9	2.4
西部 (n=279)	40.5	44.8	29.7	22.9	21.1	20.4	14.0	0.7
【経年比較】								
令和5年度 (n=846)	38.8	37.6	33.0	28.4	25.3	22.2	16.5	1.2
令和元年度 (n=975)	44.7	36.8	32.9	34.6	24.1	19.3	18.6	2.3

問20 あなたは、熊野町が行うデジタル化の取組について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。（複数回答）

力を入れていくべきデジタル化の取組について、「いつでもどこでも届出や申請ができる（オンライン申請）」が最も多く46.3%、次いで「窓口での手続き時に申請書などを書かなくて良い（書かない窓口）」が42.8%、「届出や申請に必要な添付書類が減る（情報連携）」が38.2%と続いています。

年代別では、『30代』で「いつでもどこでも届出や申請ができる（オンライン申請）」が68.1%と最も多くなっています。

地域別では、『東部』で「窓口での手続き時に申請書などを書かなくて良い（書かない窓口）」が56.0%と最も多くなっています。

(%)	いつでもどこでも届出や申請ができる	窓口での手続きに申請書などを書かなくて良い	届出や申請に必要な添付書類が減る	災害や事故などの発生時に被害や状況等の情報共有ができる	知りたい情報が簡単な操作でいつでも入手できる	地域とのつながりの接点になる	公共Wi-Fiが整備されている	キャッシュレスで税金や手数料を支払うことができる	オンラインで施設利用状況の確認や予約ができる	スマートフォンから相談や講座などへの参加ができる	困りごとと助けたい人をデジタル技術を活用して結びつける仕組みづくり	デジタルに関する不安や悩みを相談できる	行政が保有するデータを加工・利用できる	その他
全体 (n=853)	46.3	42.8	38.2	35.2	27.4	26.8	23.9	22.2	17.9	16.9	15.7	6.0	3.3	
【年代別】														
20代以下 (n=93)	60.2	48.4	46.2	30.1	30.1	46.2	36.6	40.9	23.7	7.5	4.3	6.5	4.3	
30代 (n=72)	68.1	38.9	45.8	29.2	37.5	27.8	43.1	37.5	25.0	13.9	6.9	6.9	0.0	
40代 (n=116)	60.3	52.6	44.8	44.8	26.7	32.8	42.2	33.6	31.9	18.1	11.2	6.0	1.7	
50代 (n=146)	54.1	45.9	37.7	41.1	26.7	41.8	26.0	28.1	16.4	21.9	15.1	7.5	4.8	
60代 (n=125)	40.8	40.8	47.2	39.2	30.4	22.4	20.0	11.2	13.6	20.8	20.0	6.4	3.2	
70代 (n=173)	30.6	35.8	27.2	30.1	24.9	15.6	9.2	12.7	11.6	12.7	22.5	4.0	4.6	
80歳以上 (n=123)	28.5	42.3	29.3	30.1	21.1	8.1	8.1	4.9	11.4	20.3	21.1	5.7	2.4	
【地域別】														
中央部南西 (n=264)	40.9	42.4	40.2	32.6	26.9	23.9	22.0	21.2	15.9	13.3	14.8	4.9	3.0	
中央部北東 (n=220)	49.1	39.1	36.4	38.6	29.1	30.9	24.5	24.1	20.9	18.6	13.2	6.8	5.0	
東部 (n=84)	42.9	56.0	48.8	32.1	26.2	23.8	21.4	17.9	14.3	17.9	23.8	6.0	4.8	
西部 (n=279)	50.2	42.7	34.8	35.8	26.5	26.9	25.8	22.2	18.3	18.3	16.1	6.1	1.8	

3. まちの住みやすさについて

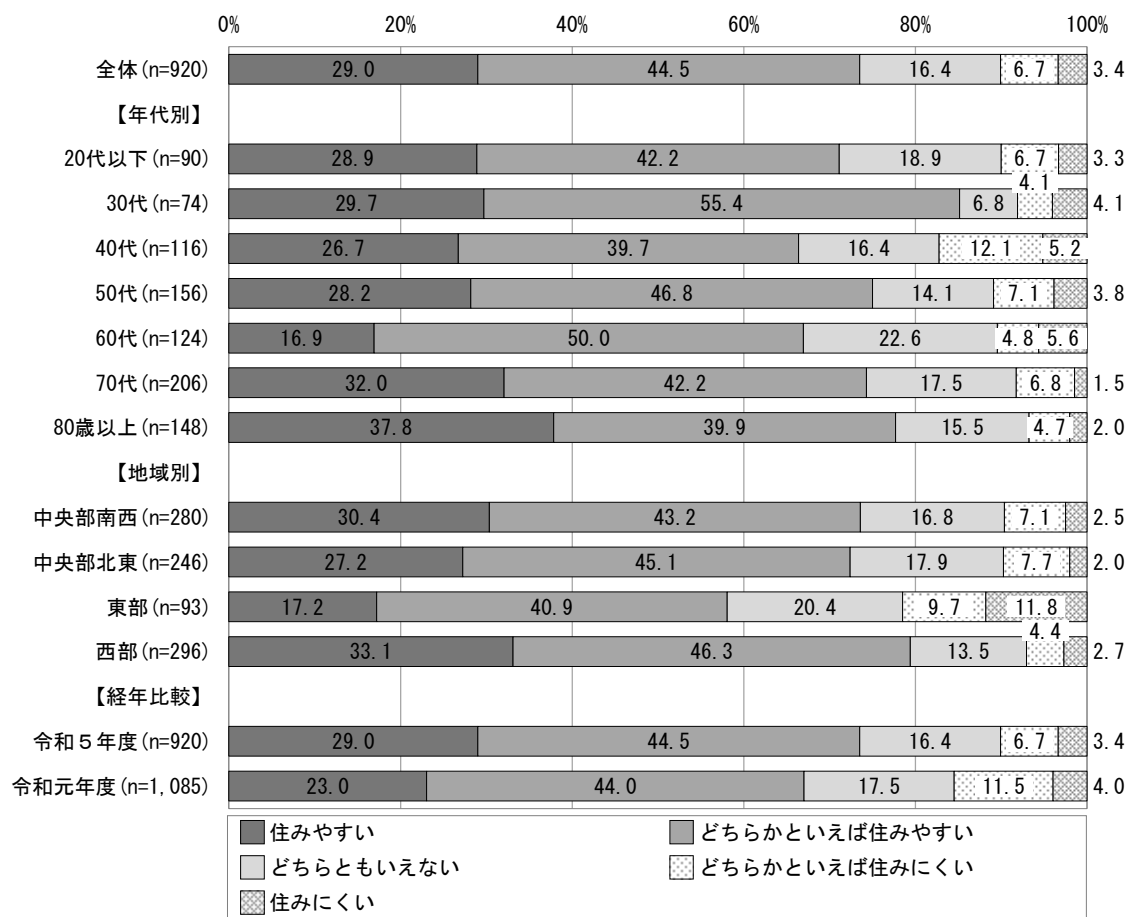
問21 あなたは、熊野町の住みやすさについてどのように思われますか。(単数回答)

住みやすさについて、「どちらかといえば住みやすい」が最も多く44.5%、次いで「住みやすい」が29.0%、「どちらともいえない」が16.4%と続いています。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた【住みやすい(計)】は73.5%となっています。

年代別では、『30代』で【住みやすい(計)】が85.1%と高くなっています。

地域別では、『西部』で【住みやすい(計)】が79.4%と高くなっています。

前回調査結果と比べ【住みやすい(計)】が73.5%と、令和元年度(67.0%)よりも高くなっています。



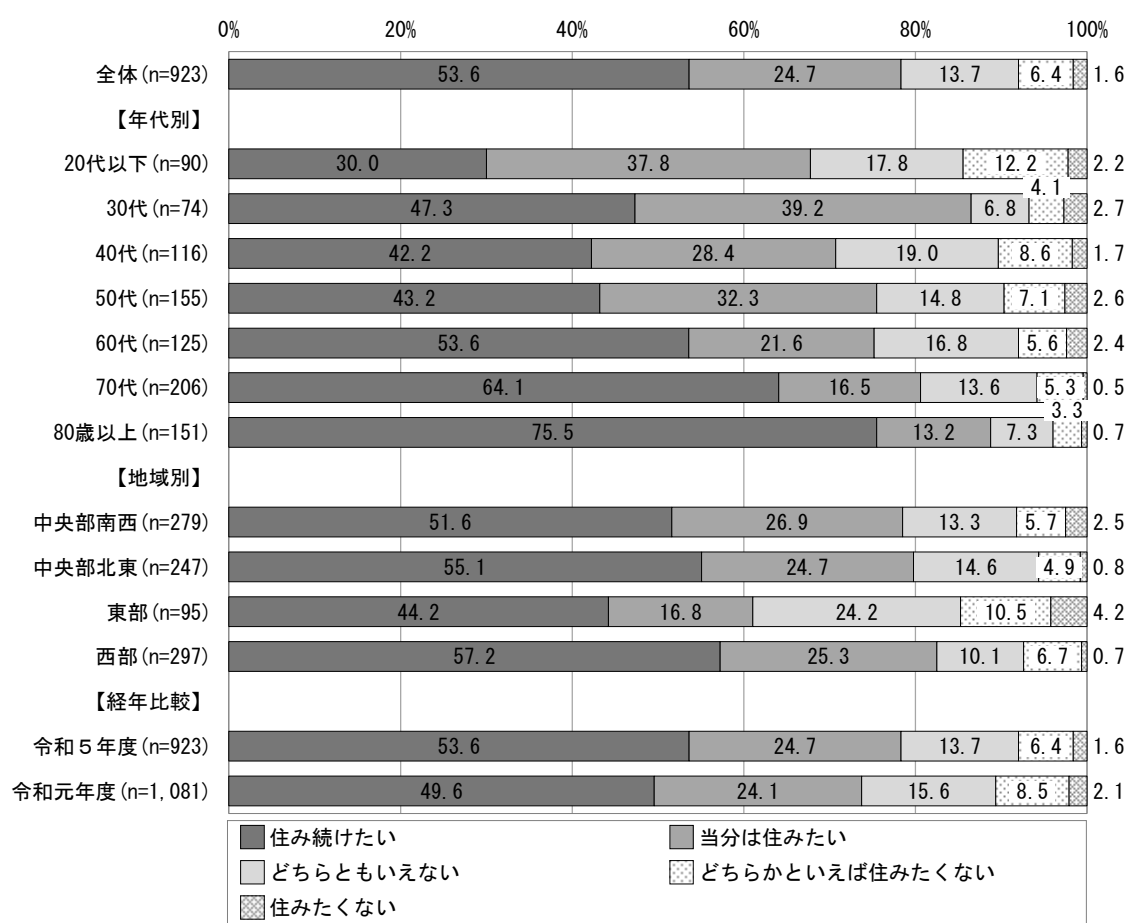
問22 あなたは、今後も熊野町に住み続けたいと思いますか。(単数回答)

居住意向について、「住み続けたい」が最も多く53.6%、次いで「当分は住みたい」が24.7%、「どちらともいえない」が13.7%と続いています。「住み続けたい」と「当分は住みたい」を合わせた【住み続けたい(計)】は78.3%となっています。

年代別では、『80歳以上』で【住み続けたい(計)】が88.7%と高くなっています。

地域別では、『西部』で【住み続けたい(計)】が82.5%と高くなっています。

前回調査結果と比べ「住み続けたい」などが増加しました。



※ 問22 で「1. 住み続けたい」「2. 当分は住みたい」を選択した方におうかがいします。

問23 その理由は何ですか。（複数回答）

住み続けたい理由について、「持ち家だから」が最も多く69.3%、次いで「買い物などの日常生活が便利だから」が38.2%、「家族・知人がいるなど縁があるから」が34.5%と続いています。

年代別では、『20代以下』で「家族・知人がいるなど縁があるから」が50.0%と最も多くなっています。

地域別では、『西部』で「道路、交通の便が良いから」が17.8%と最も多くなっています。前回調査結果と比べ「買い物などの日常生活が便利だから」などが増加しました。

(%)	持ち家だから	買い物などの日常生活が便利だから	家族・知人がいるなど縁があるから	地域での人間関係が良いから	道路、交通の便が良いから	通勤、通学に便利だから	働く場があるから	子育て・教育環境が良いから	福祉や医療が充実しているから	土砂災害警戒区域等に指定されていないから	娯楽・憩いの場があるから	その他
全体 (n=714)	69.3	38.2	34.5	17.1	11.9	8.8	8.4	8.3	7.3	6.2	3.2	3.2
【年代別】												
20代以下 (n=60)	36.7	46.7	50.0	13.3	13.3	16.7	11.7	18.3	5.0	6.7	3.3	6.7
30代 (n=64)	64.1	37.5	35.9	12.5	7.8	18.8	10.9	29.7	7.8	3.1	4.7	3.1
40代 (n=82)	68.3	29.3	37.8	12.2	8.5	18.3	19.5	18.3	4.9	3.7	1.2	3.7
50代 (n=113)	60.2	38.9	33.6	13.3	14.2	16.8	10.6	8.0	6.2	4.4	3.5	2.7
60代 (n=94)	80.9	42.6	30.9	9.6	13.8	3.2	8.5	1.1	5.3	1.1	0.0	4.3
70代 (n=165)	75.2	39.4	35.8	25.5	13.3	1.8	3.6	1.8	10.3	8.5	6.1	1.8
80歳以上 (n=131)	79.4	35.9	26.7	22.9	10.7	0.8	2.3	0.8	8.4	11.5	2.3	3.1
【地域別】												
中央部南西 (n=216)	75.0	39.4	31.5	12.0	11.1	10.6	8.8	9.7	8.3	6.5	4.6	0.9
中央部北東 (n=195)	66.2	40.0	39.5	15.4	8.2	7.7	8.2	2.6	5.6	5.1	3.1	4.1
東部 (n=58)	81.0	20.7	36.2	19.0	3.4	3.4	5.2	10.3	5.2	3.4	6.9	1.7
西部 (n=241)	63.9	40.2	32.8	22.8	17.8	9.5	8.7	11.2	8.3	7.5	1.2	5.0
【経年比較】												
令和5年度 (n=714)	69.3	38.2	34.5	17.1	11.9	8.8	8.4	8.3	7.3	6.2	3.2	3.2
令和元年度 (n=783)	74.6	23.6	41.9	21.8	7.8	7.3	10.2	7.8	4.2	5.7	1.8	5.4

※ 問22で「4.どちらかといえば住みたくない」「5.住みたくない」を選択した方におうかがいします。

問24 その理由は何ですか。（複数回答）

住みたくない理由について、「道路、交通の便が悪いから」が最も多く90.4%、次いで「買い物などの日常生活が不便だから」が52.1%、「通勤、通学に不便だから」が45.2%と続いています。

年代別では、『80歳以上』で「買い物などの日常生活が不便だから」が83.3%と最も多くなっています。

地域別では、『東部』で「買い物などの日常生活が不便だから」が78.6%と最も多くなっています。

前回調査結果と比べ「地域での人間関係が良くないから」などが増加しました。

(%)	道路、交通の便が悪いから	買い物などの日常生活が不便だから	通勤、通学に不便だから	娯楽・憩いの場がない（少ない）から	福祉や医療が不十分だから	働く場がない（少ない）から	地域での人間関係が良くないから	子育て・教育環境が良くないから	土砂災害警戒区域等に指定されているから	家族・知人がおらず、縁がないから	借家だから	その他
全体 (n=73)	90.4	52.1	45.2	43.8	35.6	32.9	23.3	12.3	12.3	4.1	1.4	8.2
【年代別】												
20代以下 (n=12)	100.0	33.3	66.7	66.7	33.3	50.0	33.3	0.0	8.3	8.3	0.0	8.3
30代 (n=5)	80.0	60.0	60.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
40代 (n=12)	91.7	50.0	58.3	41.7	25.0	41.7	33.3	33.3	0.0	8.3	0.0	16.7
50代 (n=15)	93.3	60.0	46.7	60.0	60.0	53.3	26.7	20.0	26.7	0.0	6.7	0.0
60代 (n=10)	60.0	40.0	40.0	30.0	10.0	10.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0	30.0
70代 (n=12)	100.0	58.3	16.7	41.7	58.3	16.7	8.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
80歳以上 (n=6)	100.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
【地域別】												
中央部南西 (n=23)	91.3	39.1	34.8	43.5	17.4	30.4	26.1	13.0	13.0	8.7	4.3	4.3
中央部北東 (n=14)	78.6	57.1	64.3	42.9	35.7	28.6	28.6	14.3	7.1	7.1	0.0	14.3
東部 (n=14)	100.0	78.6	35.7	50.0	50.0	28.6	14.3	7.1	21.4	0.0	0.0	7.1
西部 (n=21)	90.5	47.6	47.6	42.9	47.6	42.9	23.8	14.3	9.5	0.0	0.0	9.5
【経年比較】												
令和5年度 (n=73)	90.4	52.1	45.2	43.8	35.6	32.9	23.3	12.3	12.3	4.1	1.4	8.2
令和元年度 (n=114)	86.8	43.0	49.1	35.1	41.2	39.5	11.4	8.8	17.5	8.8	3.5	12.3

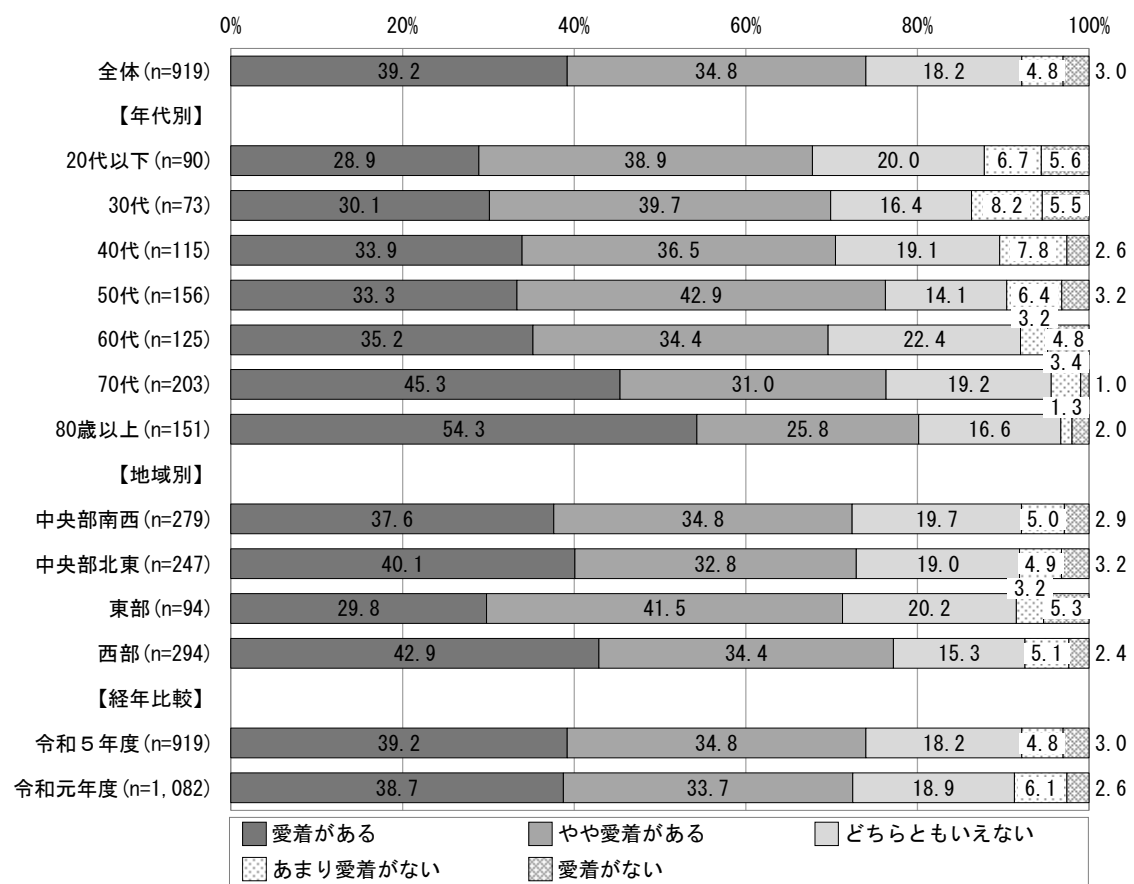
問25 あなたは、熊野町に愛着を持っていますか。(単数回答)

愛着について、「愛着がある」が最も多く39.2%、次いで「やや愛着がある」が34.8%、「どちらともいえない」が18.2%と続いています。「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた【愛着がある（計）】は74.0%となっています。

年代別では、年代が上がるほど「愛着がある」の割合が高くなる傾向にあります（一部年代を除く）。

地域別では、『西部』で【愛着がある（計）】が77.3%と高くなっています。

前回調査結果と比べ「やや愛着がある」などが増加しました。



4. 今後のまちづくりについて

問26 あなたは、将来に対して、どのようなことが不安ですか。(複数回答)

将来に対する不安について、「老後の暮らし」が最も多く51.8%、次いで「バス等移動交通手段」が47.9%、「あなたや家族の健康」が47.4%と続いています。

年代別では、『20代以下』で「子どもを産み育てること」が35.6%と高くなっています。

地域別では、『東部』で「バス等移動交通手段」が63.4%と最も多くなっています。

前回調査結果と比べ「子どもを産み育てること」などが増加しました。

(%)	老後の暮らし	バス等移動交通手段	あなたや家族の健康	あなたや家族の介護	高齢化による地域の衰退	風水害や地震などの自然災害	仕事や雇用のこと	治安の悪化	子どもを産み育てること	地域でのつきあい	不安に思うことはない	その他
全体 (n=914)	51.8	47.9	47.4	38.4	30.9	27.7	16.3	8.4	6.6	6.5	3.5	1.9
【年代別】												
20代以下 (n=90)	21.1	37.8	28.9	17.8	21.1	28.9	34.4	12.2	35.6	3.3	8.9	5.6
30代 (n=74)	45.9	52.7	47.3	28.4	29.7	25.7	36.5	10.8	20.3	6.8	6.8	0.0
40代 (n=116)	55.2	54.3	41.4	44.0	34.5	36.2	27.6	10.3	5.2	7.8	1.7	3.4
50代 (n=156)	69.2	54.5	53.2	50.0	39.1	32.1	25.0	9.6	2.6	8.3	1.9	1.9
60代 (n=124)	62.1	47.6	46.8	41.1	31.5	29.0	9.7	10.5	1.6	6.5	2.4	0.8
70代 (n=201)	49.3	44.8	55.2	38.3	28.4	21.9	1.5	5.5	0.0	4.0	3.0	0.5
80歳以上 (n=147)	46.3	44.2	47.6	38.1	29.9	22.4	2.0	4.8	0.0	8.8	3.4	2.0
【地域別】												
中央部南西 (n=277)	50.5	49.8	47.3	36.8	26.4	28.2	14.8	6.9	6.5	5.8	1.4	1.8
中央部北東 (n=246)	50.0	50.4	51.6	43.5	29.3	28.5	18.7	10.2	5.7	5.7	3.7	2.0
東部 (n=93)	52.7	63.4	44.1	37.6	38.7	25.8	15.1	10.8	11.8	6.5	2.2	2.2
西部 (n=293)	53.6	38.9	45.1	36.2	34.5	27.0	15.7	7.8	5.5	7.8	5.8	1.7
【経年比較】												
令和5年度 (n=914)	51.8	47.9	47.4	38.4	30.9	27.7	16.3	8.4	6.6	6.5	3.5	1.9
令和元年度 (n=1,075)	57.6	48.4	49.8	43.6	34.9	38.7	16.0	8.6	3.8	6.0	1.7	0.9

問27 あなたは、熊野町のこれからのまちづくりにおいて、活かしていきたいことや大切にしていきたいことは何だと思われますか。（複数回答）

これからのまちづくりにおいて、活かしていきたいことや大切にしていきたいことについて、「広島市・呉市・東広島市に隣接した位置条件」が最も多く42.8%、次いで「熊野の歴史・文化・産業」が37.5%、「熊野筆」が35.6%と続いています。

年代別では、年代が下がるほど「祭りや伝統行事、イベント」の割合が高くなる傾向にあります（一部年代を除く）。

地域別では、『東部』で「田園風景や自然環境」が39.5%と最も多くなっています。

前回調査結果と比べ「田園風景や自然環境」などが増加しました。

(%)	広島市・呉市・東広島市に隣接した位置条件	熊野の歴史・文化・産業	熊野筆	田園風景や自然環境	祭りや伝統行事、イベント	生涯学習や健康づくりへの関心	文化・スポーツ施設や公共施設等	多様な人材	コミュニティ活動	その他
全体 (n=859)	42.8	37.5	35.6	30.2	25.6	14.9	14.3	13.3	9.3	1.4
【年代別】										
20代以下 (n=87)	51.7	29.9	44.8	28.7	46.0	6.9	14.9	6.9	5.7	1.1
30代 (n=73)	45.2	35.6	45.2	28.8	41.1	12.3	21.9	19.2	8.2	0.0
40代 (n=113)	46.9	30.1	46.9	30.1	33.6	10.6	21.2	12.4	9.7	1.8
50代 (n=150)	41.3	42.0	40.7	22.7	27.3	15.3	14.0	11.3	11.3	2.0
60代 (n=118)	44.1	39.0	26.3	29.7	21.2	15.3	13.6	14.4	14.4	3.4
70代 (n=182)	43.4	37.4	22.5	34.6	14.3	17.6	8.2	14.8	7.7	0.5
80歳以上 (n=130)	32.3	43.8	36.9	34.6	15.4	20.8	13.1	13.8	7.7	0.8
【地域別】										
中央部南西 (n=261)	42.5	37.5	37.9	30.3	27.2	14.9	16.1	14.2	7.7	1.5
中央部北東 (n=225)	44.9	42.2	36.4	33.3	26.2	15.1	13.8	11.6	10.2	1.8
東部 (n=86)	47.7	30.2	31.4	39.5	23.3	9.3	8.1	16.3	5.8	2.3
西部 (n=282)	40.1	35.8	34.8	24.8	24.8	16.3	14.9	12.8	11.3	0.7
【経年比較】										
令和5年度 (n=859)	42.8	37.5	35.6	30.2	25.6	14.9	14.3	13.3	9.3	1.4
令和元年度 (n=1,011)	41.1	39.3	41.7	26.9	26.2	15.4	17.0	11.2	10.9	1.1

問28 あなたは熊野町の活性化には、どのようなことが必要だと思いますか。
(複数回答)

熊野町の活性化に必要なことについて、「熊野町に定住する人が増えること（定住人口の増）」が最も多く61.8%、次いで「子どもを産み育てやすいまちであること」が49.4%、「企業誘致・地場産業の振興などによる雇用の場が確保されること」が41.9%と続いています。

年代別では、『30代』で「子どもを産み育てやすいまちであること」が69.9%と最も多くなっています。

地域別では、『中央部北東』で「熊野筆を生かした個性的なまちであること」が21.4%と最も多くなっています。

前回調査結果と比べ「子どもを産み育てやすいまちであること」などが増加しました。

(%)	熊野町に定住する人が増えること (定住人口の増)	子どもを産み育てやすいまちであること	企業誘致・地場の産業の振興などによる雇用場の確保されること	県外、他市町村から熊野町を訪れる人が増えること(交流人口の増)	熊野町に関心を持ち、応援してくれる人が増えること(関係人口の増)	住民があらゆる分野でいきいきと活動していること	熊野筆を生かした個性的なまちであること	その他
全体 (n=892)	61.8	49.4	41.9	33.9	32.8	26.9	18.7	3.3
【年代別】								
20代以下 (n=88)	47.7	62.5	33.0	38.6	29.5	19.3	17.0	4.5
30代 (n=73)	64.4	69.9	49.3	35.6	38.4	28.8	26.0	1.4
40代 (n=115)	63.5	60.9	47.0	40.0	36.5	28.7	22.6	3.5
50代 (n=155)	56.8	49.0	46.5	39.4	32.9	26.5	16.8	5.2
60代 (n=121)	62.0	52.9	39.7	31.4	30.6	23.1	14.9	6.6
70代 (n=195)	66.2	36.9	36.4	25.1	28.7	27.7	13.8	1.5
80歳以上 (n=140)	67.9	35.7	45.0	33.6	36.4	32.1	25.7	0.7
【地域別】								
中央部南西 (n=271)	61.6	45.8	43.9	33.6	34.7	24.4	18.1	2.6
中央部北東 (n=238)	57.1	48.3	42.4	37.8	37.8	28.6	21.4	4.2
東部 (n=86)	66.3	51.2	41.9	38.4	32.6	24.4	17.4	8.1
西部 (n=292)	64.7	53.1	40.1	29.8	27.1	28.8	17.8	1.7
【経年比較】								
令和5年度 (n=892)	61.8	49.4	41.9	33.9	32.8	26.9	18.7	3.3
令和元年度 (n=1,053)	58.3	45.2	40.6	32.5	29.7	31.0	23.4	3.4

問29 今後の熊野町の人口減少対策として、町外、県外から若い人を呼び込むためにどのような対策が重要だと思いますか。（複数回答）

町外、県外から若い人を呼び込むためにどのような対策が重要かについて、「子育てのための経済的負担の軽減」が最も多く53.8%、次いで「若者の正規雇用の拡大など安定的な雇用の創出」が48.9%、「保育サービス等の充実」が40.6%と続いています。

年代別では、『30代』で「子育てのための経済的負担の軽減」が78.1%と最も多くなっています。

地域別では、『東部』で「若者の正規雇用の拡大など安定的な雇用の創出」が64.0%と最も多くなっています。

前回調査結果と比べ「保育サービス等の充実」などが増加しました。

(%)	子育てのための経済的負担の軽減	若者の正規雇用の拡大など雇用の創出	保育サービス等の充実	おしゃれな魅力あるまち並みや景観の整備	若者の「出会いと結婚」の機会づくり	熊野町のPRを目的とした情報発信	休日・夜間の若者向けの講座・イベント等の余暇・活動の充実	その他
全体 (n=877)	53.8	48.9	40.6	34.1	21.0	20.2	13.6	8.7
【年代別】								
20代以下 (n=90)	68.9	41.1	56.7	46.7	13.3	11.1	22.2	5.6
30代 (n=73)	78.1	31.5	63.0	49.3	8.2	17.8	17.8	13.7
40代 (n=115)	65.2	45.2	49.6	36.5	16.5	17.4	15.7	9.6
50代 (n=152)	51.3	50.0	44.1	32.2	18.4	21.7	14.5	13.8
60代 (n=119)	53.8	52.1	38.7	31.9	21.0	17.6	10.9	10.9
70代 (n=189)	42.9	52.9	28.0	28.0	27.5	20.1	9.5	6.3
80歳以上 (n=134)	38.8	57.5	24.6	28.4	30.6	30.6	10.4	3.0
【地域別】								
中央部南西 (n=266)	54.9	46.6	41.7	36.5	20.7	20.3	13.5	7.5
中央部北東 (n=235)	54.5	46.4	42.6	34.9	21.7	20.9	12.8	11.1
東部 (n=86)	48.8	64.0	27.9	36.0	22.1	16.3	17.4	9.3
西部 (n=285)	53.7	48.8	41.4	30.9	20.4	20.7	13.0	7.7
【経年比較】								
令和5年度 (n=877)	53.8	48.9	40.6	34.1	21.0	20.2	13.6	8.7
令和元年度 (n=1,033)	49.7	54.7	35.7	29.3	23.2	21.0	13.0	8.6

問30 あなたが思う熊野町の良いところ、自慢できること・ものは何ですか。(自由記述)

熊野町の良いところ、自慢できること・ものについて、回答は以下の通りです。

項目	件数
自然環境が豊か、気候が良い等住環境が整っていること	183件
熊野筆等の伝統物や歴史のある建物が引き継がれていること	113件
買い物や飲食店、商業施設等が充実していること	72件
町外へのアクセスが充実していること	70件
地域の人等とのふれあいがあること	30件
子育てに対する支援・環境が整っていること	23件
イベント・行事が行われること	18件
スポーツ施設や図書館等が充実していること	17件
医療福祉が充実していること	12件
治安が良く、犯罪が少ないこと	11件
ゴミ収集システムが便利であること	11件
公園等、子どもが遊べる施設が充実していること	8件
学校教育が充実していること	7件
家庭菜園や自家製の食べ物等が親しまれていること	6件
災害が少なく、防災が整えられていること	4件
新型コロナウイルス感染症対策が充実していること	3件
熊野町クーポンについて	3件
その他	32件
意見総数（回答者数408名）	623件

問31 あなたは、熊野町が将来どのようなまちであれば良いと思いますか。(複数回答)

将来どのようなまちであれば良いかについて、「道路や交通機関が整備された交通の便の良いまち」が最も多く56.5%、次いで「保健・医療・福祉が充実した健康長寿のまち」が50.0%、「子どもを育てる環境や教育環境が整ったまち」が48.3%と続いています。

年代別では、『30代』で「子どもを育てる環境や教育環境が整ったまち」が73.3%と最も多くなっています。

地域別では、『東部』で「自然や田園風景を大切にした緑豊かで潤いのあるまち」が47.9%と最も多くなっています。

前回調査結果と比べ「魅力ある商業施設や身近に商店のある買い物に便利なまち」などが増加しました。

(%)	道路や交通機関が整備された交通の便	保健・医療・福祉が充実した健康寿命	子どもを育てる環境や安全なまち	犯罪が少なく、災害や地震に強い	快適な生活環境が整ったまち	魅力ある商業施設や身近に商店のあるまち	自然や田園風景を大切にしたい緑豊かなまち	筆産業など産業が活発な活気あるまち	ふれあいや連帯感がある心やさしいまち	伝統や歴史を生かした個性あるまち	まち並みと田園空間が調和した美しいまち	多くの人が訪れる観光・交流が活発なまち	まちづくりへの住民参加が活発な文化の香り	コミュニティ活動が盛んで、	その他
全体 (n=938)	56.5	50.0	48.3	47.8	42.0	41.0	37.2	34.2	23.0	19.0	17.2	13.0	11.5	10.0	1.8
【年代別】															
20代以下 (n=95)	53.7	37.9	61.1	52.6	49.5	44.2	30.5	22.1	15.8	17.9	20.0	17.9	5.3	9.5	3.2
30代 (n=75)	64.0	41.3	73.3	54.7	53.3	42.7	30.7	28.0	21.3	24.0	21.3	17.3	14.7	10.7	2.7
40代 (n=115)	60.0	54.8	64.3	53.0	43.5	47.8	41.7	33.0	20.9	18.3	20.9	18.3	12.2	10.4	1.7
50代 (n=158)	62.7	51.3	46.2	52.5	46.2	47.5	32.3	37.3	22.8	22.2	18.4	18.4	11.4	13.3	2.5
60代 (n=129)	58.1	55.8	48.8	43.4	41.1	37.2	37.2	33.3	25.6	19.4	19.4	12.4	10.9	6.2	0.8
70代 (n=205)	49.8	51.2	35.6	44.9	37.1	33.7	39.0	35.1	26.3	15.1	11.2	6.3	10.7	8.3	1.5
80歳以上 (n=155)	52.3	51.0	34.2	39.4	32.9	40.0	42.6	43.2	23.9	20.0	15.5	8.4	14.8	12.3	1.3
【地域別】															
中央部南西 (n=285)	55.4	49.5	47.0	50.2	44.6	40.0	36.5	37.2	23.9	21.4	17.9	13.7	14.0	9.8	1.4
中央部北東 (n=250)	61.6	53.6	46.4	48.4	42.0	40.0	38.0	35.2	22.0	23.2	16.0	14.0	12.4	12.4	2.4
東部 (n=96)	64.6	55.2	45.8	45.8	38.5	39.6	47.9	30.2	19.8	19.8	17.7	17.7	12.5	8.3	1.0
西部 (n=301)	50.2	45.8	51.2	44.9	39.9	43.9	33.6	32.6	24.3	13.3	16.9	10.3	8.0	8.6	2.0
【経年比較】															
令和5年度 (n=938)	56.5	50.0	48.3	47.8	42.0	41.0	37.2	34.2	23.0	19.0	17.2	13.0	11.5	10.0	1.8
令和元年度 (n=1,101)	60.1	52.2	46.2	53.5	42.4	36.9	34.1	39.1	24.2	21.1	15.0	16.3	15.3	12.3	1.7

問32 これからの熊野町のまちづくりについて、ご意見や提案（アイデア）をお持ちでしたら、どんなことでも結構ですので、自由に記入してください。（自由記述）

これからの熊野町のまちづくりに関するご意見や提案（アイデア）について、回答は以下の通りです。

項目	件数
道路や上下水道などのインフラの整備、景観の向上	92件
交通の不便さへの不満、公共交通機関の充実など	72件
買い物や外食、レジャー等の利便性の向上	60件
公園や子どもが遊べる場所、学びやスポーツの場の充実	35件
町おこし、観光の推進	29件
医療福祉の充実	27件
若者が定着しやすいまちづくりや移住の推進など、人口減少対策	23件
出産・子育て支援の充実、分娩できる産院の確保	22件
学校給食について	19件
住みやすいまちづくりについて	15件
企業誘致、雇用の創出・促進、賃上げ等	11件
地域活動について	10件
デジタル化について	10件
市政・財政のクリーン化、見える化、税金軽減、職員の質について	9件
空き家、空き地対策	9件
教育制度の充実、教員や学習内容の質向上	8件
広報など、市の情報提供やPRの充実	7件
高齢者福祉の充実	6件
災害（地震・津波・台風）対策について	5件
結婚支援や出会いの場の提供について	3件
その他	59件
意見総数（回答者数371名）	531件